

2 0 1 2 年 度 修 士 論 文

ス ポ ー ツ 観 戦 者 の ス タ ジ ア ム 愛 着 と  
再 観 戦 行 動

Stadium Attachment and the Spectator  
Attendance of Sports Spectator

早稲田大学 大学院スポーツ科学研究科  
スポーツ科学専攻 スポーツビジネス研究領域

5 0 1 1 A 0 4 7 - 7

田 中 い づ み

Tanaka, Izumi

研究指導員： 原田 宗彦 教授

|                       |    |
|-----------------------|----|
| 第1章 序論                | 1  |
| 第1節 緒言                | 1  |
| 第1項 社会的背景             |    |
| 第2項 プロスポーツ経営          |    |
| 第3項 スポーツ消費者と再観戦行動     |    |
| 第4項 集客要素としてのスタジアムへの愛着 |    |
| 第2節 先行研究の検討           | 3  |
| 第1項 場所への愛着に関する研究      |    |
| 第2項 場所への愛着の形成要因       |    |
| 第3節 研究の目的             | 5  |
| 第4節 用語の定義             | 6  |
| 第2章 研究の方法             | 7  |
| 第1節 研究のフレームワーク        | 7  |
| 第2節 予備調査              | 8  |
| 第1項 調査概要              |    |
| 第2項 スタジアム愛着尺度の検討      |    |
| 第3項 スタジアム愛着形成要因の検討    |    |
| 第3節 本調査               | 11 |
| 第1項 調査概要              |    |
| 第2項 スタジアム愛着尺度の再検討     |    |
| 第3項 スタジアム愛着形成要因の抽出    |    |
| 第4項 スタジアム愛着形成要因の項目の検討 |    |
| 第5項 仮説モデルの設定と検証       |    |
| 第3章 結果                | 15 |
| 第1節 予備調査              | 15 |
| 第1項 サンプル属性            |    |
| 第2項 スタジアム愛着尺度         |    |
| 第3項 スタジアム愛着形成要因の検討    |    |
| 第2節 本調査               | 19 |
| 第1項 サンプル属性            |    |
| 第2項 スタジアム愛着尺度の再検討     |    |
| 第3項 スタジアム愛着形成要因の検討    |    |
| 第4項 スタジアム愛着形成要因の項目の検討 |    |
| 第5項 仮説モデルの検証          |    |
| 第3節 考察                | 35 |

|                 |    |
|-----------------|----|
| 第4章 結論          | 37 |
| 第1節 まとめ         | 37 |
| 第2節 クラブへの提言     | 38 |
| 第3節 研究の限界と今後の課題 | 39 |
| 参考文献            | 41 |
| 資料：調査で用いた質問紙    | 45 |

## 第1章 序論

### 第1節 緒言

#### 第1項 社会的背景

1993年にJリーグが発足して以来、トップスポーツリーグという枠組みの中で、経済的に自立した地域密着型のチームやクラブが台頭し浸透した。その理由として、これまで日本のトップスポーツの屋台骨を支えてきた企業スポーツがバブル経済崩壊により衰退し、90年代後半には300以上の企業チームが休・廃部に追い込まれたことがあげられる。その後、企業から切り離されたチームの中から、スポンサーを獲得し、ファンクラブや後援会を組織し、スポーツ企業としてクラブ事業化に向けて動き出す組織が出現した。

#### 第2項 プロスポーツ経営

このように、地域を中心としたプロスポーツチームの発足が見られる一方で、プロスポーツチームは自立した組織の経営と安定したマーケットの確保が求められるようになった。

プロスポーツの収入源はチケット収入、放送権収入、広告収入、商品収入で、その中でもチケット収入は主たる収入源である（武藤，2008）。また、スポーツイベントにおいて観客として人が集まることは、興行の評価と規模の安定に繋がるとされる（高井，2007）。そのため、集客数を確保して安定的な収入を得る必要があると考えられる。従って、プロスポーツ組織ではスポーツ観戦者を効率よくスタジアム観戦に導き、より質の高い観戦体験を提供することによって、安定したマーケットの確保が不可欠である（藤本ら，1996）。また、松岡（2008）も、一度来場したスポーツ参加者・スポーツ観戦者に再び来てもらうこ

とが課題であり、スポーツ消費者の再購買意図に与える影響を理解することが必要であると指摘している。このように、チームの運営を行なう上でリピーター客を確保することが重要であると言える。

### 第3項 スポーツ消費者行動と再観戦行動

これまで、スポーツ消費者行動を理解する上で、観戦者の再観戦行動についての研究が国内外で多く行なわれてきた。スポーツ観戦者の再観戦行動をテーマとした研究において、藤本ら（1996）は、チームロイヤルティがプロスポーツ観戦回数に影響を及ぼす要因であることを明らかにし、大西（2008）は、スポーツチームの地域貢献活動がチームアイデンティフィケーションを媒介として観戦意図に影響を及ぼすことを示唆した。その他にも、スポーツスケープの構築（Wakefield & Sloan, 1995）や、スタジアムまでの所要時間（高橋, 1996）が再観戦行動の要因として明らかにされている。

### 第4項 集客要素としてのスタジアムへの愛着

スポーツイベントの集客の要素として、原田（2008）は観戦者が抱くスタジアムへの愛着をあげている。彼は、Tuan（1976）が提唱した「トポフィリア（場所への愛を表した造語）」を用いて、スタジアムは住民がスタジアムの存在に誇りと喜びを感じるトポフィリアを抱く場所と述べた。また原田（2008）のこの言葉は、トポフィリアに着目したベイル（1997）がサッカースタジアムを情緒と場所を結びつける媒体として捉え、考えたことに由来している。また、トポフィリアが意味する「場所への愛」は、人間が場所との間に持つ情緒的

な関係で、人は元来場所に対してこうした情緒を抱くものであるとされている (Tuan, 1974; Eyles, 1985; Relph, 1989). さらに、スタジアムへの愛着について、スタジアムとは「我が家」のような特徴を持った地域と人々を結びつける存在であり、愛着が醸成される場であると述べられている (Jones, 1997; Russell, 1999; Giulianotti, 2004). また橋本 (2010) も、スタジアムは愛着が無意識のうちに醸成される場所であると指摘している.

このような場所に対する愛着は、スポーツ消費者の行動意図に影響を及ぼすことが報告されている. Williams ら (1992) は、アメリカの国立公園のレクリエーション参加者に調査を行い、場所への愛着は来訪回数に影響を与えていることを明らかにした. また、Kelly ら (2000) は、スキー参加者を対象に調査を行い、スキー場への愛着が高い人ほどその場所への投資額と来訪回数が高いことを明らかにした. このように、場所への愛着はその場所への再訪や来訪回数に影響を与える要因であると言える.

しかしながら、レクリエーション参加者に焦点をあてた研究は多く見られるものの、スポーツ観戦者に焦点をあてた研究はほとんど見られない. このことから、本研究ではスポーツ観戦者が抱くスタジアムの愛着に着目した.

## 第2節 先行研究の検討

### 第1項 場所への愛着に関する研究

場所への愛着を理解するために、これまで多くの研究が行われてきた. Proshansky ら (1983) は、ある場所に対して普段生活している場所と同等の価値を置いているかどうかを重要であるとし、これを「場所同一」と述べた. また、Stokols & Shumaker (1981) は、

ある場所について他の場所と比べてどのくらい満足できるかが重要であるとし、「場所依存」と称した。この2人の先行研究をうけ、Williamsら（1988）は国立公園に訪れるレクリエーション参加者を対象に調査を行い、自然環境に対する愛着の構造を明らかにした。これは Place Attachment 尺度と呼ばれ、2因子から構成されている。Place Attachment 尺度はその後の研究（Williamsら, 1992; Kaltenborn,ら 1997; Kellyら, 2000）において広く用いられるようになった。

しかし、人は場所に対して親近感を抱いていることや（Roberts, 1996）、所属意識を抱いていること（Mesch & Manor, 1998; Miligan, 1998）、家族のような絆を抱いていること（Stegner, 1992）が述べられており、人が場所に対して抱く感情は複雑であることがうかがえる。これらの先行研究をうけた Hammittら（2006）は、愛着の構成要因は2因子だけではないとして、5因子構造でその解明を試みた。彼は川へ釣りに訪れた人を対象に調査を行い、その結果、場所への愛着は5因子から構成されることを明らかにした。これは Place Bonding 尺度とされ、その後の研究においても用いられている（Wynveenら, 2008; Halpennyら, 2010; Smithら, 2010）。Hammittら（2006）が開発した Place Bonding 尺度の各因子名と定義を表1に示す。

表1. Place Bonding 尺度：各因子の定義

| 因子名  | 定義                                           |
|------|----------------------------------------------|
| 場所親近 | 特定の場所で得た特別な思い出や、そこでしか経験できないことが積み重なって醸成される    |
| 場所所属 | 特定の場所に対して、自分もその一部だと感じることによって醸成される            |
| 場所同一 | 特定の場所に対して、自分が普段生活している場所と同等の価値・意義を感じることで醸成される |
| 場所依存 | 特定の場所について、他の場所と比べてどのくらい満足できるのか知覚することで醸成される   |
| 場所定着 | 特定の場所を自分の家のように感じることで醸成される                    |

このように、場所に対する愛着の研究はレクリエーション参加者に焦点をあてて多く行なわれているが、スポーツ観戦者に焦点をあてたものはほとんど行なわれていない。

## 第2項 場所への愛着の形成要因

場所への愛着は様々な要因によって構築されることが報告されている。Fishwick & Vining (1992) や Moore & Graefe (1994) は、経験や印象に残った出来事がきっかけとなると述べており、大谷 (2003) は、環境からの情報の認知・感情の生起・評価といったプロセスにより愛着が形成されると報告している。また、引地ら (2009) は、地域への愛着に関する研究において、場所への愛着の形成は物理的環境と社会的環境の2つの点から成り立っていることを証明し、さらにその2つの評価が高い人ほど場所への愛着が高いことを明らかにした。また、自然環境に対する愛着については、自然の景観やそこでの経験や人とのふれ合いが形成要因となると述べてられている (Relph, 1976; Brandenburg & Carroll, 1995; Stedman, 2003)。

これらのことから、場所への愛着を抱くには、その形成要因が関係していることが理解でき、また愛着の向上にも繋がることから、愛着の形成要因を知ることは重要であると言える。しかしながら、スポーツ観戦者の愛着形成要因についての研究は多く行なわれていないのが現状である。

## 第3節 研究の目的

上記を踏まえ、本研究では、①Place Bonding 尺度をスタジアムに置き換え、スタジアム

への愛着の構造を検討すること、②スタジアムへの愛着の形成要因を検討すること、そして③スタジアムへの愛着は再観戦行動に影響を及ぼすのかを検討することを目的とした。

#### 第4節 用語の定義

Hidalgo ら（2001）は、場所への愛着を「人間と特定の間の感情的な絆もしくはつながり」と述べ、Vorkinn ら（2001）は、「人間が特定の物理的環境に結びつく現象」と述べていることから、場所への愛着とは個人と場所との間のつながりであるといえる。よって、本研究ではスタジアムへの愛着を「スタジアム愛着」とし、「人間とスタジアムの間の感情的なつながり」と定義した。

## 第2章 研究の方法

### 第1節 研究のフレームワーク

本研究では，スタジアム愛着が再観戦行動へ及ぼす影響を検証するために，図1のように予備調査と本調査を実施し，段階を踏んで研究をすすめた．本章では第2節で予備調査の，第3節では本調査で用いた分析方法を記述する．

調査場所である日立柏サッカー場は柏レイソルのホームスタジアムであり，2011年春に親会社の日立製作所から柏レイソルに譲渡され（日本経済新聞，2011），クラブ自身が所有するスタジアムとなっている．また，サッカー専用スタジアムであることから，ピッチとスタンドの距離が近いことが特徴としてあげられる．これらのことから，日立柏サッカー場は観戦者がスタジアムに対してより愛着を抱きやすい場所であると考えられるため，調査場所として選定した．

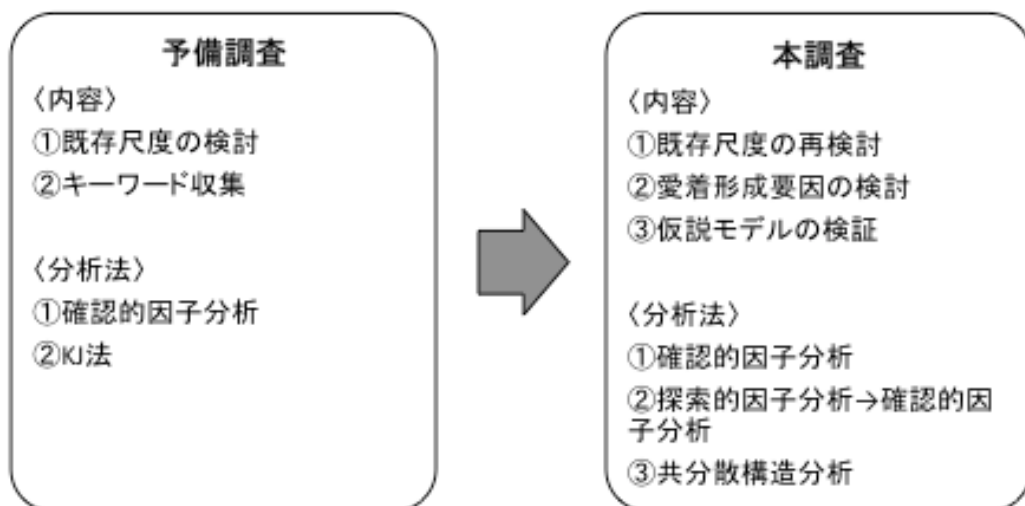


図1．研究のフレームワーク

## 第 2 節 予備調査

本研究では、スタジアム愛着尺度の検討を行なうため、またスタジアム愛着の形成要因の検討におけるキーワード収集を行なうために予備調査を実施した。

### 第 1 項 調査概要

予備調査は 2012 年 10 月 6 日に日立柏サッカー場（第 28 節柏レイソル vs 川崎フロンターレ）において実施された。当日の試合観客数は 10,769 人であった。調査は、柏レイソル観戦者を対象に、訪問留め置き法による質問紙調査法で実施された。スタジアムの開門から試合開始 15 分前までの約 1 時間 30 分の間に、会場に着席している観戦者に対し質問紙が配布・回収された。調査員はそれぞれ担当するブロックで、観戦者の年齢層と男女比を確認し、ブロック全体を反映するようにサンプルを抽出した。また、調査員には、観戦者の来場時間によってサンプルに偏りが生じないように、観戦者のスタジアムへの入り具合を見てサンプル抽出のペース配分を考慮させた。

本研究における調査項目は、大きく 3 つのセクションに分かれている。まず 1 つ目のセクションでは、観戦者がスタジアムへの愛着の形成要因を検討するため、キーワード収集を目的とした自由記述欄を設けた。2 つ目のセクションは、24 項目からなるスタジアム愛着尺度を設定し、「5. 大いにあてはまる」から「1. 全くあてはまらない」を両極とする 5 段階リッカート方式で測定した。なお、Hammit (2006) が開発した愛着尺度は、英語で構成されているため、全ての項目にバックトランスレーションを施した。バックトランスレーションは、筆者を含む大学院生 3 名で構成された。まず英語の質問項目を日本語に翻訳し、翻訳された日本語の質問項目を再度英語に翻訳した。翻訳された英語の質問項目と、

元の質問項目の比較検討を行なうことで、Hammitt (2006) が開発した尺度と本研究のために翻訳した日本語の尺度に意味が異なる点がないように、24 項目のバックトランスレーションを行なった。その結果、英語の項目と対応する翻訳された日本語の項目は、全ての項目において一致したと判断し、後の調査を行なった。スタジアム愛着尺度の各因子と定義を表 2 に、スタジアム愛着の 24 項目を表 3 に示す。3 つ目のセクションは年齢・性別・職業からなる人口特性に関する質問項目と、同伴者・使用交通機関・今シーズンのホームゲーム観戦回数からなる行動特性に関する質問項目を設定した。なお、調査で用いた質問紙は巻末に資料 1 として添付した。

表 2. スタジアム愛着尺度：各因子の定義

| 因子名     | 定義                                              |
|---------|-------------------------------------------------|
| スタジアム親近 | 特定のスタジアムで得た特別な思い出や、そこでしか経験できないことが積み重なって醸成される    |
| スタジアム所属 | 特定のスタジアムに対して、自分もその一部だと感じることによって醸成される            |
| スタジアム同一 | 特定のスタジアムに対して、自分が普段生活している場所と同等の価値・意義を感じることで醸成される |
| スタジアム依存 | 特定のスタジアムについて、他の場所と比べてどのくらい満足できるのか知覚することで醸成される   |
| スタジアム定着 | 特定のスタジアムを自分の家のように感じることで醸成される                    |

表 3. スタジアム愛着尺度：質問項目

| 因子名     | 質問項目                                          |
|---------|-----------------------------------------------|
| スタジアム親近 | 親近① 日立柏サッカー場の全体像を把握している                       |
|         | 親近② 日立柏サッカー場で何度か観戦したことがあり、親しみを感じる             |
|         | 親近③ 日立柏サッカー場のことをよく知っている                       |
| スタジアム所属 | 所属① 日立柏サッカー場とつながっているように感じる                    |
|         | 所属② 日立柏サッカー場が大好きだ                             |
|         | 所属③ 日立柏サッカー場は、他の場所では感じられないようなことを私に感じさせてくれる    |
|         | 所属④ 日立柏サッカー場にいるとき、私は自分が日立柏サッカー場の一部であるかのように感じる |
|         | 所属⑤ 私は、自分が日立柏サッカー場に属しているような感じがする              |
| スタジアム同一 | 同一① 日立柏サッカー場は私にとってとても特別なものだ                   |
|         | 同一② 日立柏サッカー場に対して愛情を抱いている                      |
|         | 同一③ 私にとって日立柏サッカー場は深い意味を持つ                     |
|         | 同一④ 日立柏サッカー場を身近に感じる                           |
|         | 同一⑤ 日立柏サッカー場に来ると素の自分になれる                      |
|         | 同一⑥ 私は、日立柏サッカー場が自分の一部であるかのように感じる              |
| スタジアム依存 | 依存① 日立柏サッカー場はサッカーを観るのに最適な場所である                |
|         | 依存② 日立柏サッカー場での観戦は他のスタジアムよりも重要である              |
|         | 依存③ 日立柏サッカー場は他のサッカースタジアムと比べものにならない            |
|         | 依存④ 日立柏サッカー場以外の場所でのサッカー観戦は考えられない              |
|         | 依存⑤ 他のどの場所よりも日立柏サッカー場でサッカーを観戦しているときに満足感を覚える   |
|         | 依存⑥ 日立柏サッカー場でも他の場所でもサッカー観戦を楽しめる ※逆転項目         |
| スタジアム定着 | 定着① 日立柏サッカー場でしかサッカー観戦はしたくない                   |
|         | 定着② 私は、日立柏サッカー場以外の場所ではめったにサッカーを観戦しない          |
|         | 定着③ もし日立柏サッカー場で観戦ができないのなら、私はサッカー観戦をしない        |
|         | 定着④ サッカー観戦といえば日立柏サッカー場だ                       |

## 第 2 項 スタジアム愛着尺度の検討

本研究では、確認的因子分析を用いてスタジアム愛着尺度のカテゴリーの構成概念妥当性を確認した。確認的因子分析とは、スケールの次元性や因子構造についての仮説がある場合に、その仮説がデータと矛盾していないか、つまり仮説因子モデルの構成概念妥当性を検証するための分析である（山本，2001）。この確認的因子分析には AMOS20.0（SPSS 社）を用いた。また、クロンバックの  $\alpha$  係数を算出することで、尺度の信頼性を確認した。この信頼性分析には SPSS20.0 を用いた。

### 第3項 スタジアム愛着形成要因の検討

自由記述回答で得られたキーワードは、KJ法を用いて分類した。KJ法とは、蓄積された情報から必要なものを取り出し、関連するものを繋ぎ合わせて整理し、統合する手法である（川喜田，1970）。紙片を活用するところに大きな特徴があり、内容や質が異なる情報をまとめ、全体を把握するのに有効な手法である。

## 第3節 本調査

予備調査に続き、①スタジアム愛着尺度の再検討、②スタジアム愛着の形成要因項目の探索的因子分析、③スタジアム愛着の形成要因項目の確認的因子分析、および④仮説モデルを検証するために本調査を実施した。なお、サンプルを半分に分けて検証を行なうため、①スタジアム愛着尺度の再検討と②スタジアム愛着の形成要因項目の探索的因子分析にはサンプルの前半半分を用い、③スタジアム愛着の形成要因項目の確認的因子分析、および④仮説モデルの検証ではサンプルの残りをを用いた。

### 第1項 調査概要

本調査は2012年10月27日に日立柏サッカー場（第30節 柏レイソル vs 大宮アルディージャ）において実施された。当日の試合観客数は12,167人であった。調査は、柏レイソル観戦者を対象に、訪問留め置き法による質問紙調査法で実施された。スタジアムの開門から試合開始15分前までの約1時間30分の間に、会場に着席している観戦者に対し質問紙が配布・回収された。調査員はそれぞれ担当するブロックで、観戦者の年齢層と男女比

を確認し、ブロック全体を反映するようにサンプルを抽出した。また、調査員には、観戦者の来場時間によってサンプルに偏りが生じないように、観戦者のスタジアムへの入り具合を見てサンプル抽出のペース配分を考慮させた。

本研究における調査項目は、大きく 3 つのセクションに分かれている。まず 1 つ目のセクションでは、年齢・性別・職業からなる人口特性に関する質問項目と、同伴者・使用交通機関・今シーズンのホームゲーム観戦回数・チームの応援年数からなる行動特性に関する質問項目を設定した。2 つ目のセクションでは、22 項目からなるスタジアム愛着尺度と、16 項目からなるスタジアム愛着形成要因を検討するための設問を設定し、「9. 大いにあてはまる」から「1. 全くあてはまらない」を両極とする 9 段階リッカート方式で測定した。回答の選択肢を増やすと実施時間が増加する（村上, 2008）との指摘があるが、9 段階リッカート方式は心理尺度の測定の際に広く用いられていることから採用することとした。3 つ目のセクションは、Wakefield & Sloan (1995) の用いた再観戦意図を問う尺度を設定し、「7. 非常にそう思う」から「1. 全くそう思わない」を両極とする 7 段階リッカート方式で測定した。なお、調査で用いた質問紙は巻末に付録 2 として添付する。

## 第 2 項 スタジアム愛着尺度の再検討

予備調査と同様に、AMOS20.0 を用いて確認的因子分析を行いスタジアム愛着尺度カテゴリーの構成概念の妥当性を確認した。また、収束的妥当性を検討するために平均分散抽出（Average Variance Extracted ; 以下 AVE と略す）を算出し、弁別的妥当性を検討するために因子間相関の平方と AVE を比較した。そして、クロンバックの  $\alpha$  係数を算出するこ

とで尺度の信頼性を確認した。予備調査同様、この信頼性分析には SPSS20.0 を用いた。

### 第3項 スタジアム愛着形成要因の抽出

スタジアム愛着形成要因の構成要素を検討するため、SPSS20.0 を用いて探索的因子分析（主因子法、プロマックス回転）を行なった。探索的因子分析は、複数の変数の関係性をもとにした構造を探る際に用いられる手法である。

### 第4項 スタジアム愛着形成要因の項目の検討

Amos20.0 を用いて確認的因子分析を行いスタジアム愛着尺度カテゴリーの構成概念の妥当性を確認した。また、収束的妥当性を検討するために AVE を算出し、弁別的妥当性を検討するために因子間相関の平方と AVE を比較した。そして、クロンバックの  $\alpha$  係数を算出することで尺度の信頼性を確認した。信頼性分析には SPSS20.0 を用いた。

### 第5項 仮説モデルの設定と検証

スタジアム愛着の形成要因とスタジアム愛着尺度を用いて再観戦行動を検証するために、仮説モデルの設定を行ない、共分散構造モデルにより検証した。引地ら（2009）は、場所への愛着が構築されるにはその形成要因となるものが存在すると指摘しており、Williams ら（1992）と Kelly ら（2000）は、場所への愛着は再訪意図に正の影響を与えることを実証している。これらの指摘から、図 2 に示した再観戦意図を予測するための仮説モデルを設定し、その妥当性を AMOS20.0 を用いて共分散構造分析により検証した。



図 2. 仮説モデル

### 第3章 結果

#### 第1節 予備調査

##### 第1項 サンプル属性

調査の結果、得られた有効回答票本は 196 部であった（回収率 98%）。回収されたサンプル

の平均年齢は 37.48 歳で、その属性は表 4 に示したとおりである。

表 4. 予備調査のサンプル属性

|                      |         | n   | %    |
|----------------------|---------|-----|------|
| 性別                   | 男       | 119 | 61.3 |
|                      | 女       | 75  | 38.7 |
| 年齢                   | 15歳以下   | 3   | 1.6  |
|                      | 16~18歳  | 8   | 4.1  |
|                      | 19~22歳  | 17  | 8.8  |
|                      | 23~29歳  | 33  | 17.1 |
|                      | 30代     | 42  | 21.8 |
|                      | 40代     | 56  | 29   |
|                      | 50代     | 24  | 12.4 |
|                      | 60代     | 9   | 4.7  |
|                      | 70歳以上   | 1   | 0.5  |
| 住まい（都道府県）            | 山形      | 1   | 0.8  |
|                      | 茨城      | 7   | 5.5  |
|                      | 栃木      | 2   | 1.6  |
|                      | 埼玉      | 12  | 9.4  |
|                      | 千葉      | 79  | 62.2 |
|                      | 東京      | 16  | 12.6 |
|                      | 神奈川     | 6   | 4.7  |
|                      | 石川      | 1   | 0.8  |
|                      | 長野      | 1   | 0.8  |
|                      | 静岡      | 1   | 0.8  |
| 今シーズンの<br>ホームゲーム観戦回数 | 0~1回    | 26  | 13.6 |
|                      | 2~7回    | 35  | 18.3 |
|                      | 8~14回以上 | 57  | 29.8 |
|                      | 15回以上   | 73  | 38.2 |

## 第2項 スタジアム愛着尺度

測定項目の平均値と標準偏差を表5に、各因子間の相関を表6に示した。

表5. 測定項目の平均値・標準偏差値

| 因子名     | 項目  | 平均値  | 標準偏差 |
|---------|-----|------|------|
| スタジアム親近 | 親近① | 3.87 | 1.22 |
|         | 親近② | 4.52 | 1.10 |
|         | 親近③ | 4.07 | 1.13 |
| スタジアム所属 | 所属① | 3.74 | 1.23 |
|         | 所属② | 4.59 | 0.95 |
|         | 所属③ | 4.13 | 1.14 |
|         | 所属④ | 3.41 | 1.33 |
|         | 所属⑤ | 3.68 | 1.24 |
| スタジアム同一 | 同一① | 4.22 | 1.23 |
|         | 同一② | 4.30 | 1.13 |
|         | 同一③ | 3.96 | 1.24 |
|         | 同一④ | 4.16 | 1.18 |
|         | 同一⑤ | 3.63 | 1.19 |
|         | 同一⑥ | 3.61 | 1.28 |
| スタジアム依存 | 依存① | 4.63 | 0.63 |
|         | 依存② | 4.49 | 1.01 |
|         | 依存③ | 3.98 | 1.15 |
|         | 依存④ | 2.98 | 1.43 |
|         | 依存⑤ | 4.11 | 1.20 |
|         | 依存⑥ | 1.78 | 0.89 |
| スタジアム定着 | 定着① | 2.43 | 1.37 |
|         | 定着② | 2.61 | 1.38 |
|         | 定着③ | 2.29 | 1.32 |
|         | 定着④ | 4.33 | 0.97 |

表 6. 因子間相関

|         | 親近   | 所属   | 同一   | 依存   | 定着 |
|---------|------|------|------|------|----|
| スタジアム親近 | 1    |      |      |      |    |
| スタジアム所属 | .786 | 1    |      |      |    |
| スタジアム同一 | .850 | .921 | 1    |      |    |
| スタジアム依存 | .635 | .746 | .760 | 1    |    |
| スタジアム定着 | .223 | .407 | .379 | .598 | 1  |

5 因子 24 項目の妥当性を検討するため、確認的因子分析を行なった。本研究では GFI, AGFI, CFI, RMSEA の適合度指標を総合的に判断して測定尺度カテゴリーの構成概念妥当性を検証した。また、各指標の評価基準については、GFI, AGFI, CFI が .900 以上、RMSEA が .050 未満であるとそのモデルの当てはまりは良いとされている(豊田, 2010)。その結果、モデルの適合度は、GFI = .609, AGFI = .499, CFI = .772, RMSEA = .153 で、4 つの適合度指標の全てにおいて当てはまりが良くないという結果であった。また、信頼性を検討するため、カテゴリーごとにクロンバックの  $\alpha$  係数を算出した。信頼性係数には明確な基準値がないため(小塩, 2005), 隅野・原田(2005)と山口(2010)に倣い .700 以上とした。結果、「スタジアム親近」が .87, 「スタジアム所属」が .82, 「スタジアム同一」が .83, 「スタジアム依存」が .66, 「スタジアム定着」が .92 で、スタジアム依存が基準を下回った。このため、スタジアム依存の内的整合性は低いと判断し、因子の信頼性に悪影響を及ぼしている項目の削除を行なった。その結果、「依存①サッカーを観るのに最適な場所」と「依存⑥他の場所でもサッカー観戦を楽しめる」が削除され、 $\alpha$  係数は .79 となった。また、項目削除後の確認的因子分析の結果は、GFI = .629, AGFI = .528, CFI = .794, RMSA = .143 で、削除検討前に比べ改善されたが、全てにおいて当てはまりが良くないという結果であった。

分析の結果より、既存のスタジアム愛着尺度の信頼性は高いが、妥当性が低いことが明らかとなり、再検討が必要であると判断した。妥当性が低い原因として、5 因子間の相関が強いことが影響していると考えられる。従って、本調査では回答に差が出るように 9 段階リッカート方式で測定することとした。

### 第3項 スタジアム愛着形成要因の検討

#### (1) キーワードの分類

回収された 196 部の有効回答から、486 の自由記述回答を得た。収集されたキーワードは、早稲田大学大学院でスポーツマネジメント研究を行う修士課程在籍の 4 名と共に、KJ 法によって同類と考えられるグループに分類を行なった。グループ分けされたスタジアム愛着形成要因の一覧を表 7 に示す。

表 7. 予備調査において自由記述で収集された項目（KJ 法により分類）

| カテゴリー     | キーワード                                                             |
|-----------|-------------------------------------------------------------------|
| サポーター     | ファンとの一体感。興奮。印象的な応援。                                               |
| 地元        | 近所にあること。地元の誇り。                                                    |
| スタジアムの構造  | チーム保有のサッカースタジアムであること。<br>ピッチまでの距離が近いこと。コンパクトなスタジアム。<br>サッカーが見やすい。 |
| チームへ対する感情 | スタジアムで得た思い出。スタジアムでの歴史。                                            |
| コミュニケーション | ファンサービス。マスコットとのふれあい。<br>選手とのコミュニケーション。                            |
| 試合        | 試合中の選手との一体感。試合の臨場感。                                               |
| ホームスタジアム  | スタジアムで落ち着けるということ。家にいるような感じ。                                       |

## (2) スタジアム愛着形成要因の質問項目の設定

KJ 法により分類されたキーワードを，自由記述の内容と先行研究を基に，村上（2006）の質問文作成の手順を参考にしながら，計 16 の質問項目を作成した．作成した質問項目はスポーツ心理学研究を行う博士後期課程 1 名と共にワーディングの検討を行なった．設定した質問項目を表 8 に示す．

表 8. スタジアム愛着形成要因の設問

| 設問                                 |
|------------------------------------|
| 1 日立柏サッカー場では思い出に浸る（ひたる）ことができる      |
| 2 日立柏サッカー場は落ち着くことができる              |
| 3 日立柏サッカー場はチーム保有の専用スタジアムである点で他とは違う |
| 4 日立柏サッカー場ではレイソルの歴史を感じることができる      |
| 5 日立柏サッカー場では選手とコミュニケーションがとれる       |
| 6 日立柏サッカー場で行なわれる応援は面白い             |
| 7 日立柏サッカー場ではサポーター同士の一体感が感じられる      |
| 8 日立柏サッカー場のピッチと選手の距離は絶好だ           |
| 9 日立柏サッカー場はサッカーが見やすい               |
| 10 日立柏サッカー場は地元の誇りである               |
| 11 日立柏サッカー場では臨場感が味わえる              |
| 12 日立柏サッカー場では熱くなれる                 |
| 13 日立柏サッカー場のコンパクトさは良い              |
| 14 日立柏サッカー場での試合では選手との一体感が感じられる     |
| 15 日立柏サッカー場では試合以外のサービスも充実している      |
| 16 日立柏サッカー場にはマスコットがいるので嬉しい         |

## 第 2 節 本調査

### 第 1 項 サンプル属性

調査の結果，得られた有効回答標本は 441 部であった（回答率 88.2%）．回収されたサンプルの平均年齢は 40.0 歳で，その属性は表 9 に示したとおりである．なお，分析には完全

回答を得た 378 部を用いた.

表 9. 本調査のサンプル属性

|                      |         | n   | %    |
|----------------------|---------|-----|------|
| 性別                   | 男       | 277 | 63.0 |
|                      | 女       | 163 | 37.0 |
| 年齢                   | 15歳以下   | 1   | 0.2  |
|                      | 16~18歳  | 5   | 1.1  |
|                      | 19~22歳  | 42  | 9.5  |
|                      | 23~29歳  | 68  | 15.4 |
|                      | 30代     | 85  | 19.3 |
|                      | 40代     | 112 | 25.4 |
|                      | 50代     | 69  | 15.6 |
|                      | 60代     | 30  | 6.8  |
|                      | 70歳以上   | 7   | 1.6  |
| 住まい（都道府県）            | 岩手      | 1   | 0.2  |
|                      | 宮城      | 1   | 0.2  |
|                      | 福島      | 1   | 0.2  |
|                      | 茨城      | 21  | 4.8  |
|                      | 栃木      | 1   | 0.2  |
|                      | 埼玉      | 20  | 4.6  |
|                      | 千葉      | 310 | 71.6 |
|                      | 東京      | 56  | 12.9 |
|                      | 神奈川     | 18  | 4.2  |
|                      | 愛知      | 2   | 0.5  |
| 今シーズンの<br>ホームゲーム観戦回数 | 岡山      | 2   | 0.5  |
|                      | 0~1回    | 50  | 11.3 |
|                      | 2~7回    | 117 | 26.5 |
|                      | 8~14回以上 | 83  | 18.8 |
|                      | 15回以上   | 181 | 41.0 |
| 応援年数                 | 1年目     | 24  | 6.3  |
|                      | 2~5年    | 83  | 21.8 |
|                      | 6~10年   | 100 | 26.2 |
|                      | 11~15年  | 60  | 15.7 |
|                      | 16~20年  | 96  | 25.2 |
|                      | 21年以上   | 6   | 1.6  |

## 第2項 スタジアム愛着尺度の再検討

### (1) 尺度の妥当性・信頼性

測定項目の平均値，標準偏差を表 10 に，各因子間の相関を表 11 に示した．

表 10. 測定項目の平均値・標準偏差

| 因子名     | 項目  | 平均値  | 標準偏差 |
|---------|-----|------|------|
| スタジアム親近 | 親近① | 6.90 | 2.02 |
|         | 親近② | 4.83 | 1.84 |
|         | 親近③ | 6.55 | 1.96 |
| スタジアム所属 | 所属① | 6.42 | 2.06 |
|         | 所属② | 7.78 | 1.64 |
|         | 所属③ | 6.89 | 1.87 |
|         | 所属④ | 6.95 | 1.95 |
|         | 所属⑤ | 5.93 | 2.05 |
| スタジアム同一 | 同一① | 6.95 | 1.94 |
|         | 同一② | 7.23 | 1.92 |
|         | 同一③ | 6.69 | 2.02 |
|         | 同一④ | 7.26 | 1.86 |
|         | 同一⑤ | 6.35 | 2.07 |
|         | 同一⑥ | 6.10 | 2.24 |
| スタジアム依存 | 依存① | 7.31 | 1.97 |
|         | 依存② | 6.76 | 1.98 |
|         | 依存③ | 4.61 | 2.52 |
|         | 依存④ | 7.60 | 1.83 |
| スタジアム定着 | 定着① | 4.85 | 2.49 |
|         | 定着② | 4.83 | 2.58 |
|         | 定着③ | 4.25 | 2.60 |
|         | 定着④ | 7.69 | 1.80 |

表 11. 因子間相関

|         | 親近   | 所属   | 同一   | 依存   | 定着 |
|---------|------|------|------|------|----|
| スタジアム親近 | 1    |      |      |      |    |
| スタジアム所属 | .645 | 1    |      |      |    |
| スタジアム同一 | .701 | .867 | 1    |      |    |
| スタジアム依存 | .601 | .764 | .756 | 1    |    |
| スタジアム定着 | .279 | .474 | .389 | .617 | 1  |

妥当性を検討するため、確認的因子分析を行なった。GFI, AGFI, CFI, RMSEA の適合度指標を総合的に判断して測定尺度カテゴリーの構成概念妥当性を検証した。また、各指標の評価基準については、豊田（2010）に倣い、GFI, AGFI, CFI が.900 以上、RMSEA が.050 未満を基準とした。その結果、モデルの適合度は、GFI =.748, AGFI =.680, CFI =.786, RMSA =.119 で、4 つの適合度指標の全てにおいて当てはまりが良くないという結果であった。5 因子間の相関が高いことが影響していると考えられる。このため、項目の削除を行い、尺度の修正が必要であると判断した。

## (2) モデルの修正：IT 相関分析

項目ごとの相関を検討するため、Item-Total(項目-全体)相関分析を行なった。Item-Total 相関分析とは、項目全体得点と各質問項目との相関係数を求め、有意差のない項目は削除する（徳永, 2004）とされている。しかし、本研究では、それぞれが属するカテゴリーの合成変数との相関よりも他のカテゴリーの合成変数との間に高い相関がみられた項目を削除の対象とした（松岡・松永, 2002）。その結果、「所属②日立柏サッカー場が大好きだ」「所属③日立柏サッカー場は、他の場所では感じられないようなことを私に感じさせてくれる」

「同一③私にとって日立柏サッカー場は深い意味を持つ」「同一⑥私は、日立柏サッカー場が自分の一部であるかのように感じる」「依存①日立柏サッカー場での観戦は他のスタジアムよりも重要である」「定着④サッカー観戦といえば日立柏サッカー場だ」の6項目が削除の対象となった。項目と合成変数間の相関を表12に示す。

表 12. 項目-合成変数間の相関

|          | 親近   | 所属   | 同一   | 依存   | 定着   |
|----------|------|------|------|------|------|
| スタジアム親近① | 0.89 | 0.53 | 0.59 | 0.49 | 0.24 |
| スタジアム親近② | 0.82 | 0.56 | 0.59 | 0.53 | 0.24 |
| スタジアム親近③ | 0.86 | 0.57 | 0.62 | 0.53 | 0.24 |
| スタジアム所属① | 0.45 | 0.84 | 0.68 | 0.63 | 0.47 |
| スタジアム所属② | 0.61 | 0.60 | 0.65 | 0.51 | 0.16 |
| スタジアム所属③ | 0.47 | 0.74 | 0.71 | 0.63 | 0.36 |
| スタジアム所属④ | 0.45 | 0.82 | 0.64 | 0.53 | 0.37 |
| スタジアム所属⑤ | 0.49 | 0.79 | 0.64 | 0.61 | 0.41 |
| スタジアム同一① | 0.58 | 0.69 | 0.83 | 0.63 | 0.27 |
| スタジアム同一② | 0.66 | 0.69 | 0.81 | 0.63 | 0.29 |
| スタジアム同一③ | 0.60 | 0.77 | 0.87 | 0.69 | 0.37 |
| スタジアム同一④ | 0.59 | 0.68 | 0.80 | 0.62 | 0.24 |
| スタジアム同一⑤ | 0.45 | 0.61 | 0.73 | 0.51 | 0.29 |
| スタジアム同一⑥ | 0.49 | 0.71 | 0.76 | 0.55 | 0.39 |
| スタジアム依存① | 0.67 | 0.69 | 0.73 | 0.78 | 0.35 |
| スタジアム依存② | 0.47 | 0.62 | 0.63 | 0.78 | 0.40 |
| スタジアム依存③ | 0.15 | 0.35 | 0.28 | 0.65 | 0.64 |
| スタジアム依存④ | 0.52 | 0.59 | 0.59 | 0.67 | 0.32 |
| スタジアム定着① | 0.13 | 0.34 | 0.25 | 0.45 | 0.82 |
| スタジアム定着② | 0.08 | 0.18 | 0.12 | 0.33 | 0.72 |
| スタジアム定着③ | 0.10 | 0.28 | 0.24 | 0.40 | 0.77 |
| スタジアム定着④ | 0.59 | 0.63 | 0.59 | 0.62 | 0.45 |

### (3) 修正したスタジアム愛着測定尺度の妥当性・信頼性

#### ① 妥当性の検討

前項にて修正した 16 項目から成るスタジアム愛着の測定尺度の妥当性の検討を行なうために AMOS20.0 を用いて確認的因子分析を行なった。また、収束的妥当性をより支持するために AVE を算出した。AVE を算出するため、Fornell and Larcker (1981) に従い、因子負荷量が 0.707 に満たない「同一⑤日立柏サッカー場に来ると素の自分になれる」「依存②日立柏サッカー場は他のサッカースタジアムと比べものにならない」「依存③日立柏サッカー場以外の場所でのサッカー観戦は考えられない」「依存④他のどの場所よりも日立柏サッカー場でサッカー観戦をしているときに満足感を覚える」「定着②私は、日立柏サッカー場以外の場所ではめったにサッカー観戦をしない」の 5 項目を削除し、再度モデルの修正を行なった。この際、「スタジアム依存因子」に属する項目全てが削除の対象となったが、「スタジアム同一因子」との相関が非常に高かったことがその原因と考えられる。結果、残り 11 項目のうち、1 項目は基準に満たない因子負荷量を示したが、その項目を削除することで構成概念の意味を損なうと判断し、以降の分析にも採用することとした。

最終的に 4 因子 11 項目で分析を行なった。その結果、確認的因子分析によるモデルのパス図は全て有意であることが確認され、モデル適合度は  $GFI=.951$ ,  $AGFI=.915$ ,  $CFI=.967$ ,  $RMSEA=.070$  と、全てにおいて基準値を満たした。スタジアム愛着測定尺度の確認的因子分析のパス図を図 3 に示す。

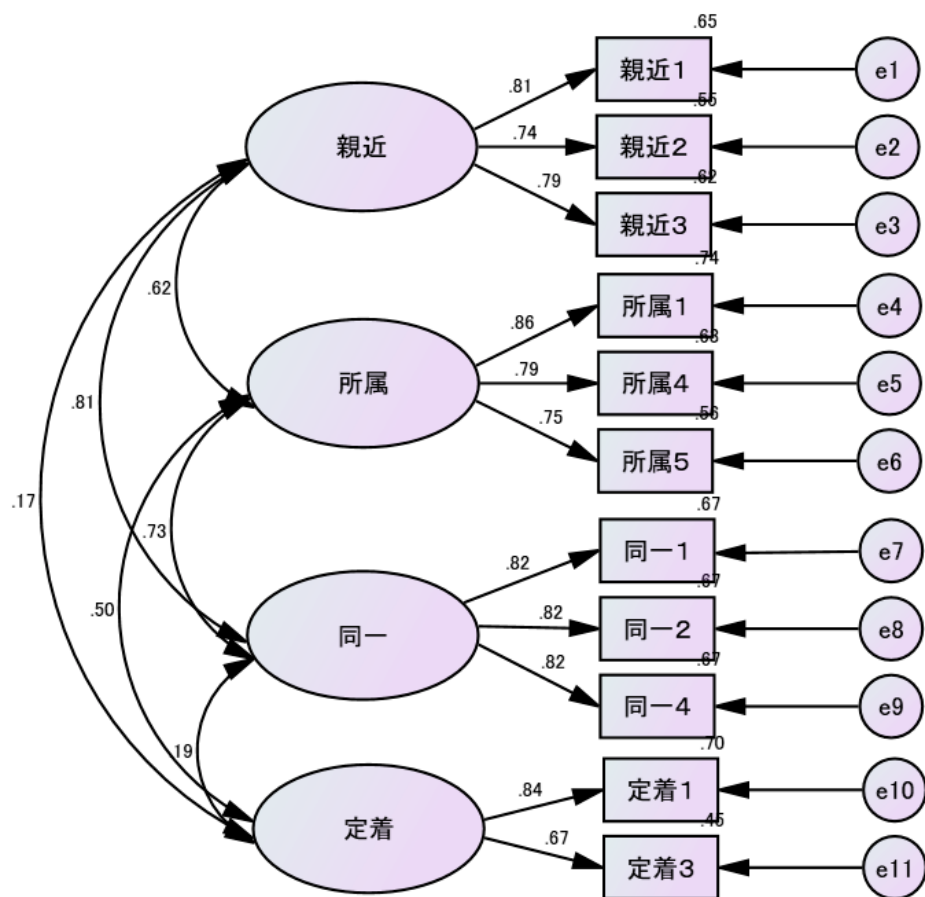


図3. スタジアム愛着尺度：確認的因子分析のモデル図

また、収束的妥当性を支持する AVE の算出結果は、各因子の値が.58 から.67 を示し、基準とされる.50 以上（Fornel and Larcker, 1981）であったことから、尺度の収束的妥当性は支持された。さらに、得られた AVE の値を用いて弁別的妥当性の検証を行なった。表 13 にスタジアム愛着を構成する 4 因子の因子相関の平方と各因子の AVE を示した。それぞれの因子の AVE が他の 3 因子との相関係数の平方よりも高い数値を示したことから、スタジアム愛着尺度は弁別的妥当性を持つことが明らかになった。

表 13. スタジアム愛着尺度：因子間相関係数の平方と AVE

|         | 親近   | 所属   | 同一   | 定着   |
|---------|------|------|------|------|
| スタジアム親近 | .61a |      |      |      |
| スタジアム所属 | .29  | .64b |      |      |
| スタジアム同一 | .48  | .39  | .67c |      |
| スタジアム定着 | .02  | .15  | .02  | .58d |

a. 親近の AVE, b. 所属の AVE c. 同一の AVE, d. 定着の AVE

## ② 信頼性の検討

妥当性が検証されたスタジアム愛着の 4 因子 11 項目モデルにおける信頼性を検討するため、各因子の  $\alpha$  係数を算出した。結果、各因子の値は.72 から.86 を示し、基準値である.700 以上であったことから、尺度の信頼性は支持された。

## (4) まとめ

前述の結果より、妥当性および信頼性共に許容値を満たしたスタジアム愛着測定尺度が得られたと判断した。それぞれの測定項目の平均値、標準偏差、 $\alpha$  係数及び AVE をまとめたものを表 14 に示す。

表 14. 測定項目

| スタジアム愛着項目                              | 平均値  | 標準偏差 | $\alpha$ 係数 | AVE |
|----------------------------------------|------|------|-------------|-----|
| スタジアム親近                                |      |      | .82         | .61 |
| サッカー場の全体像を把握している                       | 6.90 | 2.02 |             |     |
| サッカー場で何度観戦したことがあり、親しみを感ずる              | 4.83 | 1.84 |             |     |
| サッカー場のことをよく知っている                       | 6.55 | 1.96 |             |     |
| スタジアム所属                                |      |      | .84         | .64 |
| サッカー場とつながっていつように感じる                    | 6.42 | 2.06 |             |     |
| サッカー場にいるとき、私は自分が日立柏サッカー場の一部であるかのように感じる | 6.95 | 1.95 |             |     |
| 私は、自分が日立柏サッカー場に属しているような感じがする           | 5.93 | 2.05 |             |     |
| スタジアム同一                                |      |      | .86         | .67 |
| サッカー場は私にとってとても特別なものだ                   | 6.95 | 1.94 |             |     |
| サッカー場に対して愛情を抱いている                      | 7.23 | 1.92 |             |     |
| サッカー場を身近に感じる                           | 7.26 | 1.86 |             |     |
| スタジアム定着                                |      |      | .72         | .58 |
| サッカー場でしか観戦したくない                        | 4.85 | 2.49 |             |     |
| もしサッカー場で観戦ができないのなら、私はサッカー観戦をしない        | 4.25 | 2.60 |             |     |

### 第3項 スタジアム愛着形成尺度の検討

#### (1) 探索的因子分析

予備調査の結果から得られたスタジアム愛着形成要因に関する 16 項目を精選するため、探索的因子分析を行なった。小塩（2011）の指摘に従い、因子負荷量は.40 以上を基準とした。結果、3 因子 11 項目が抽出された。結果を表 15 に示す。

表 15. スタジアム愛着形成要因：項目の探索的因子分析

| 質問項目              | 因子負荷量 |       |       |
|-------------------|-------|-------|-------|
| サポーター同士の一体感が感じられる | .774  | -.135 | -.106 |
| 臨場感が味わえる          | .728  | -.065 | .049  |
| 熱くなれる             | .727  | .143  | -.030 |
| 選手との一体感を感ぜられる     | .665  | .015  | .034  |
| 応援は面白い            | .472  | .101  | .231  |
| 思い出に浸ることができる      | -.195 | .930  | -.119 |
| 落ち着くことができる        | .162  | .624  | .012  |
| 歴史を感じることができる      | .005  | .524  | .171  |
| 選手とコミュニケーションがとれる  | .275  | .456  | .036  |
| ピッチと選手の距離が絶好      | -.088 | -.059 | .916  |
| サッカーが見やすい         | .084  | .026  | .457  |

## (2) スタジアム愛着形成要因の項目の精選

本項では、前節の第3項で抽出された3因子の命名と解釈を行う。

### ① 第1因子：応援環境因子

第1因子は、「サポーター同士の一体感」、「臨場感」、「熱くなれる」、「選手との一体感」

「面白い応援」がキーワードとなっており、スタジアムでの熱狂的な応援を表しているこ

とから、応援環境因子と命名した。

### ② 第2因子：ホーム因子

第2因子は、「思い出に浸れる」、「落ち着く」、「歴史を感じる」、「選手とのコミュニケー

ション」がキーワードとなっており、スタジアムでの穏和な状態を表していることから、

ホーム因子と命名した。

### ③ 第3因子：スタジアムの構造因子

第3因子は、「ピッチと選手の距離感」、「サッカーが見やすい」がキーワードとなっており、観戦環境そのものを表していることから、スタジアムの構造因子と命名した。それぞれの因子の定義を表16に示す。

表16. スタジアム愛着形成要因項目：各因子の定義

|            |                                                  |
|------------|--------------------------------------------------|
| 応援環境因子     | スタジアムで応援することで、サポーターや選手との一体感を感じたり熱狂すること           |
| ホーム因子      | スタジアムで過去の観戦経験を思い出したり選手とのふれ合いを感じることで、穏やかな気持ちになること |
| スタジアムの構造因子 | スタジアムが試合の観戦に最適な構造であること                           |

以上より、スタジアム愛着形成要因の測定項目が構成された。次項では、開発されたスタジアム愛着形成要因項目の妥当性と信頼性を検討し、第5項ではスタジアム愛着尺度とスタジアム愛着形成要因項目を用いて仮説検証を行なう。

### 第4項 スタジアム愛着形成要因の項目の検討

#### (1) 妥当性

妥当性を検証するため、AMOS20.0を用いて確認的因子分析を行なった。また、収束的妥当性を支持するためにAVEを算出した。Fornell and Larcker (1981)に従い因子負荷量が.707に満たない「応援①日立柏サッカー場ではサポーター同士の一体感を感じられる」の1項目を削除した。また、2項目が基準に満たない因子負荷量を示したが、その項目を削

除することで構成概念の意味を損なうと判断し、以降の分析にも採用することとした。分析を進めた結果、確認的因子分析によるモデルのパス図は全て有意であることが確認され、モデル適合度は  $GFI=.956$ ,  $AGFI=.925$ ,  $CFI=.962$ ,  $RMSEA=.069$  となり、全てにおいて基準値を満たした。スタジアム愛着測定尺度の確認的因子分析のパス図を図4に示す。

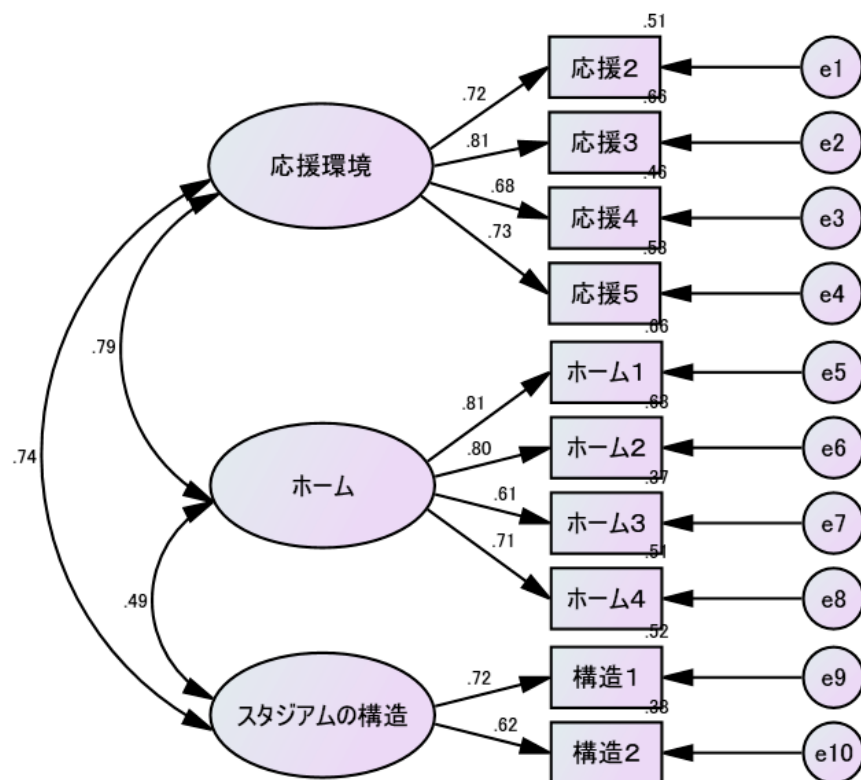


図4. スタジアム愛着形成要因：確認的因子分析のモデル図

また、収束的妥当性を支持する AVE の算出結果、各因子の値は .45 から .54 を示し、「スタジアムの構造因子」が基準である 0.50 以上（Fornel and Larcker, 1981）を満たさなかったが、著しく基準を逸脱する結果ではなかったため本研究で作成したスタジアム愛着形成要因の項目は妥当な値を持つと判断した。さらに、得られた AVE の値を用いて弁別的妥当性の検証を行なった。表 17 にスタジアム愛着形成要因を構成する 3 因子の因子相関の平方と各因子の AVE を示した。それぞれの因子の AVE が他の 2 因子との相関係数の平方よりも高い値を示したことから、スタジアム愛着形成要因の項目は弁別的妥当性を持つことが明らかになった。これらの結果から、本研究で作成されたスタジアム愛着形成要因項目の妥当性は確保された。

表 17. スタジアム愛着形成要因項目：因子間相関係数の平方と AVE

|           | 応援環境 | ホーム  | 構造   |
|-----------|------|------|------|
| 応援環境因子    | .54a |      |      |
| ホーム因子     | .43  | .54b |      |
| スタジアム構造因子 | .29  | .15  | .45c |

a, 応援の AVE, b, ホームの AVE, c, 構造の AVE

## (2) 信頼性の検討

妥当性が検証されたスタジアム愛着形成場面の 3 因子 10 項目モデルにおける信頼性を検討するため、各因子の  $\alpha$  係数を算出した。結果、各因子の値は .62 から .82 を示し、「スタジアムの構造因子」が .700 以下であったが、小塩（2005）は .500 未満でなければ許容範囲であると述べていることから、尺度の信頼性において十分な値を得たと判断した。

### (3) まとめ

前述の結果より，妥当性および信頼性に十分な値を持つスタジアム愛着形成要因の測定項目が得られた．それぞれの測定項目の平均値，標準偏差， $\alpha$  信頼係数及び AVE をまとめたものを表 18 に示す．

表 18. 測定項目

| スタジアム愛着形成要因              | 平均値  | 標準偏差 | $\alpha$ 係数 | AVE |
|--------------------------|------|------|-------------|-----|
| 応援環境因子                   |      |      | .82         | .54 |
| サッカー場では臨場感が味わえる          | 7.85 | 1.58 |             |     |
| サッカー場では熱くなれる             | 7.46 | 1.72 |             |     |
| サッカー場で行なわれる応援は面白い        | 7.42 | 1.65 |             |     |
| サッカー場での試合では選手との一体感を感じられる | 7.53 | 1.68 |             |     |
| ホーム因子                    |      |      | .82         | .54 |
| サッカー場では思い出に浸ることができる      | 7.02 | 1.96 |             |     |
| サッカー場では落ち着くことができる        | 6.64 | 2.03 |             |     |
| サッカー場ではレイソルの歴史を感じることができる | 6.76 | 1.97 |             |     |
| サッカー場では選手とコミュニケーションがとれる  | 6.66 | 1.86 |             |     |
| スタジアムの構造因子               |      |      | .62         | .45 |
| サッカー場のピッチと選手の距離は絶好だ      | 7.92 | 1.68 |             |     |
| サッカー場はサッカーが見やすい          | 7.93 | 1.67 |             |     |

### 第 5 項 仮説モデルの検証

ここでは，3 因子によって構成されるスタジアム愛着形成要因が 4 因子から構成されるスタジアム愛着へどのように影響を与えるか，さらに，そのスタジアム愛着は再観戦意図へどのように影響を与えるかを検証した．分析の結果，モデル適合度は， $GFI = .848$ ,  $AGFI = .812$ ,  $CFI = .865$ ,  $RMSEA = .087$  となり，それぞれの基準値を十分に満たしていない結果となった．しかし，豊田（2010）は，変数が 30 以上のパス図の場合は  $GFI$  が基準を超え

ていない場合もその低さだけでパス図を捨てる必要はない，と述べており，また RMSEA  
 において，モデルを採択すべきでないといわれる.10を下回っている（大石ら，2009）こと  
 から，モデルの採用は可能であると判断した．表 19 にモデルのパス係数のまとめを，図 5  
 にパス図を示す．

表 19. 構造モデルのパス係数と有意確率

| パス           | 推定値 | 確率  |
|--------------|-----|-----|
| 愛着形成→応援環境    | .99 | *** |
| 愛着形成→ホーム     | .84 | *** |
| 愛着形成→構造      | .78 | *** |
| スタジアム愛着→親近   | .86 | *** |
| スタジアム愛着→所属   | .77 | *** |
| スタジアム愛着→同一   | .97 | *** |
| スタジアム愛着→定着   | .27 | *** |
| 愛着形成→スタジアム愛着 | .75 | *** |
| スタジアム愛着→再観戦  | .13 | **  |

\*\*\*p<.01 \*\*p<.05

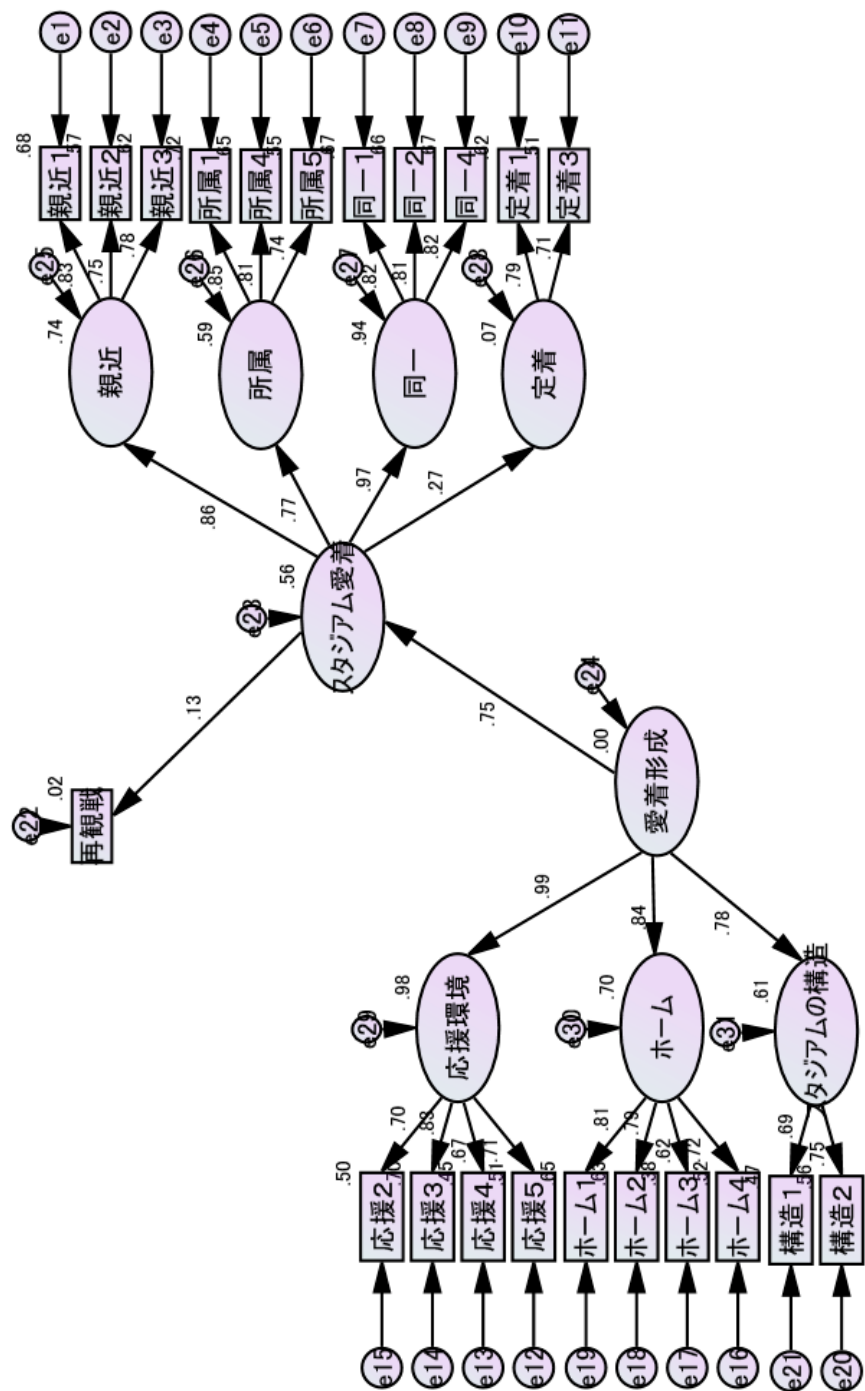


図 5. スタジアム愛着が再観戦意図への影響における共分散構造分析の結果

分析の結果、スタジアム愛着形成要因はスタジアム愛着に有意な正のパスを示し、そのパス係数は.75であった。また、スタジアム愛着形成要因から影響を受けたスタジアム愛着は、再観戦意図に有意な正のパスを示し、そのパス係数は .13 であった。

### 第 3 節 考察

研究の結果から、スタジアム愛着は 4 つの因子から構成される概念であることが明らかとなった。この結果から、スポーツ観戦者のスタジアムに対する愛着は、スタジアムへの親しみや観戦時の満足感、そしてスタジアムと自己の一体を感じるなどが基となり愛着が構成されているのだと理解できる。

また、スポーツ観戦者のスタジアム愛着を形成する要因は 3 因子によって構成され、スタジアム愛着へ有意な影響を及ぼすことが明らかとなった。その結果、このモデルの有用性が支持され、これは、物理的環境と社会的環境が場所への愛着に影響を及ぼす、という引地ら（2009）の研究と一致し、スポーツイベントの場においてもスポーツ観戦者はスタジアムそのものの構造などの物理的環境と選手やサポーターとのふれ合いや、これまでの観戦の思い出といった社会的環境の 2 点により形成されることを示している。従って、これらの要素はスタジアム愛着の形成における重要な先行要因であると理解できる。なお、愛着を形成する思い出について Milligan（1998）は、愛着の形成に関係する出来事はポジティブであってもネガティブであっても構わない、と述べている。このことから、試合の勝利や優勝や昇格のシーンだけでなく、負け試合や降格といったネガティブな出来事も、スタジアムで起こった一つの思い出や歴史として観戦者の記憶に印象深く残り、スタジア

ムへの愛着を形成するのだと考えられる。また、調査の結果には、「座席の位置が高いのでピッチとの距離が近く感じられる」という自由回答が多数見られた。調査場所であった日立柏サッカー場は、サッカー専用のスタジアムであり、座席が縦に多いためピッチとの距離が非常に近く感じられる。スタジアムの構造因子と応援環境因子の相関が比較的高いことから、スタジアムの構造は、臨場感や選手との一体感という応援環境にも影響を及ぼすと考えられ、応援を盛り上げるための一因であると考えられる。

最後に、スタジアム愛着は将来的にそのスタジアムで行なわれる試合への再観戦という行動意図へ有意な影響を与えていることが実証された。これは、場所への愛着は行動意図に影響する、という Williams ら (1988) の研究と一致し、レジャー参加者のみならず、スポーツ観戦者においてもスタジアムという場所そのものが再観戦行動に与える一要因であることが明らかとなった。しかし、結果は有意であったが影響力は低いため、再観戦行動に影響を与える要因には、チームロイヤルティ (藤本ら, 1996) やチームアイデンティフィケーション (大西, 2008) のような他の変数が関連していると考えられる。そのため、スタジアム愛着から再観戦行動への結果の解釈には留意が必要である。

以上より、スタジアムは愛着が形成される場であることが理解でき、スタジアム愛着は再観戦行動の一要因であることが示唆された。よって、今後のスタジアムマネジメントにおいてスポーツ観戦者の愛着を形成し、増大させることで、再観戦行動の先行要因となりうると考えられる。

## 第 4 章 結論

### 第 1 節 まとめ

本研究は、観戦者がスタジアムに抱いている愛着を「スタジアム愛着」として捉え、既存の尺度をスタジアム用に置き換え、スタジアム愛着の構成要因を定量的なアプローチを用いることでその構造の解明を試みた。その結果、スタジアム愛着は「スタジアム親近」、「スタジアム所属」、「スタジアム同一」、「スタジアム定着」の 4 つの要素から構成されていることが明らかとなった。

また、スタジアム愛着が構成されるには、その形成要因が存在しており、本研究ではその要因について定性的・定量的アプローチを用いてその構造の解明を試みた。結果、スタジアム愛着の形成要因には 3 つの要素が存在することが判明し、それらの因子は「応援環境因子」、「ホーム因子」、「スタジアム構造因子」であった。

そして、この形成要因はスタジアム愛着に影響を与え、スタジアム愛着は再観戦意図へ影響を与えることが確認された。これは、レクリエーション参加者に焦点をあてた場所への愛着が行動意図の重要な先行要因となる結果と一致し、スポーツ観戦においても同様の結果が得られたと言える。

これまで、再観戦行動に関する研究では、愛着に着目した研究はあまり多く行なわれてこなかった。しかし、本研究の結果より、観戦者が抱くスタジアムへの愛着は再観戦行動にポジティブな影響を与えることが明らかとなり、愛着が形成されるには物理的環境と社会的環境が影響を及ぼすことが明らかとなった。そのため、チームは観戦者の愛着をより

高めるため、また抱かせるために、スタジアムで思い出や歴史を感じられる工夫、熱烈的な応援ができるよう充実した環境の提供など、愛着を形成するためのマネジメントを企てる必要があるといえる。

## 第2節 クラブへの提言

調査を通して明らかとなったスタジアム愛着形成要因から、スタジアムでの思い出や歴史、また応援環境がスタジアム愛着へ強く影響していることが確認できた。歴史と思い出について、アルヴァックス（1999）は、「集合的記憶」という言葉を用い、歴史とは集団が抱く過去の記憶である、と説いた。彼によると、集合的記憶は、個人が経験したことの無い過去の出来事を他者の記憶と共に共有する可能性のあるものであると述べられている。また、岩崎（2008）によると、集合的記憶は統一的に作り上げることができ、そのための装置として記念碑が存在している。つまり、記念碑の役割は、ある出来事の記憶を長く残らせ、そしてその記念碑を見ることで過去の出来事を想起し、記憶を他者と共有すると説いている。

これらのことから、プロスポーツクラブの愛着マネジメントとして、過去の優勝や記念すべき記憶をファンが持ち続け、そして想起できる装置をスタジアムに設けることが重要であると考えられる。それは、記念碑でなくともその出来事の写真や映像などを、ホームページや試合のハーフタイム等を使って継続的にファンの目にふれさせることでも可能であると考えられる。また、過去の大きな出来事のみならず、スタジアムで起こったこれまでの歴史（例えば選手の引退式や印象的なゴールシーン等）を細かく記し、スタジアムで

起こったこれまでの出来事を、ストーリーを描いてファン達の人生とリンクさせスタジアムでの思い出を想起させることも方法として考えられる。大切なことは、常にそのような装置を提供し、ファン達にスタジアムでの記憶を共有させることであると考えられる。

また、愛着が高まりやすい応援環境を作り出すことも重要である。例えば、座席にチームカラーを施しているスタジアムや、試合時にスタジアム全体をチームカラーで染める工夫や多く見られるが、スタジアムの外面にもチームカラーを差し入れ、スタジアムに入場する前から応援の士気を高める工夫が考えられる。

### 第3節 研究の限界

本研究の課題として、主に3点あげられる。まず、スタジアム愛着尺度において、収束的妥当性・弁別的妥当性は確保されたが、既存の尺度から因子を1つ削除する結果となった。因子間の相関が強いことが関連していると思われるが、これは原文を日本語に置き換えたときに各質問項目の内容が似通ったニュアンスになったことが原因と考えられる。今後の研究において、質問項目を見直した上で再度調査を行なう必要があると思われる。

2点目は、調査対象による結果の差異が検証できなかったことである。今回の調査は1ヶ所で行なわれたため、スタジアムを保有しないクラブ（スタジアムが自治体の管理下にあるクラブ）や、複数のスタジアムでホーム試合を行なうクラブにおいても調査を実施してスタジアム愛着が再観戦行動に与える影響を比較し、検討する必要がある。と同時に、愛着形成要因となる新たな項目を収集し、さらなる愛着形成要素の検討も必要であると言える。

最後に、モデル検証において、スタジアム愛着から再観戦意図へのパス係数が、有意であったが影響力が小さかった点である。これは分析における標本数が少なかったことが原因の一つであると考えられる。そのため、他クラブでも調査を行い、より多くの標本を用いてスタジアム愛着の影響力を検証することが望まれる。本研究ではスタジアム愛着が再観戦行動へ与える影響を検証したが、スタジアム愛着が今後のクラブマネジメントやスポーツ消費者研究の一助となれば幸いである。

## 参考・引用文献一覧

- Bjorn, P., Kaltenborn (1997) . Nature of place attachment: A study among recreation homeowners in Southern Norway
- Brandenburg, A. M. & Carroll, M. S. (1995) . Yore place or mine? The effect of place creation on environmental values and landscape meaning, *Society and Natural Resource*, 8 381-398
- Christopher, J., Wynveen (2008) . EXPLORING THE EFFECT OF EXPERIENCE USE HISTORY AND PLACE BONDING ON RESOURCE SUBSTITUTION, Texas A&M University
- Elizabeth, A., Halpenny (2010) .Pro-environmental behaviours and park visitors: The effect of place attachment, *Journal of Environmental Psychology*, 30:4, 409-421
- Eyles, J. (1985) *Senses of Place*, Warrington: Silverbrook
- Fishwick, L., & Vining, J. (1992) . Toward a phenomenology of recreation place, *Journal of Environmental Psychology*, 12, 57-63
- Fornell, C., and Larker, D.F. (1981) . Evaluating structural models with unobservable variables and measurement error. *Journal of Marketing Research*, 18, 39-50
- G. Armstrong & Giulianotti (Eds.) , *Football cultures and identities*. London: Macmillen.
- Giulianotti, R. (2004) *Football: emotional attachment and social control*. In R. Giulianotti (Ed.) *Football: A sociology of the global game*. London: Polity Press.
- Jones, I. (1997) A further examination of the factors influencing current identification with a sports team, *Perceptual and Motor Skills*, 85
- Jordan, W., Smith, Christos, Sideslis, and Roger, L., Moore (2010) . The Effect of Place Attachment, Hypothetical Site Modifications and Use Levels on Recreation Behavior, *Journal of Leisure Reserch*, 42: 4, 621-640
- Kelly, S. Bricker, Deborah, L. Kerstetter (2000) : Level of Specialization and Place Attachment: An Exploratory Study of Whitewater Recreationists, *Leisure Science: An Interdisciplinary Journal*, 22: 4, 233-257

- M., Carmen, Hidalgo, and Bernardo, Hernandez (2001) Place Attachment: Conceptual and Empirical Question. *Journal of Environmental Psychology*, 21, 224-253
- Mesch, G. S. & Manor, O. (1998) Social ties, environmental perception, and local attachment. *Environmental and Behavior*, 30, 504-519
- Milligan, M. J. (1998) Interactional past and potential: the social construction of place attachment, *Symbolic Interaction* 21, 1-33
- Moore, R., L., & Graefe, A. R. (1994) Attachment to recreation setting: The case of rail-trail users. *Leisure Science*, 16, 17-31
- Proshansky, H. M., Fabian, A. K., & Kaminof, R (1983) Place identity : Physical world socialization of the self. *Journal of Environmental Psychology*, 3, 57-83.
- Relph, E. (1989) 'Responsive methods, geographical imagination and the study of landscape', in A Kobayashi and A. Mackenzie, (Eds) , *Remarking Human Geography*, London: Unwin Hyman.
- Roberts, E. (1996) Place and spirit in public land management, in Driver, B. L. et al. (Eds) *Nature and the Human Spirit*. 66-81
- Russell, D. (1999) Associating with football: social identity in England 1863-1998. In
- Steadman, R. C. (2003) Sense of place and forest science: toward a program of quantitative research, *Forest Science*, 49, 822-829
- Stegner, W. (1992) *The Sense of Place* (New York: Random House)
- Stokols, D., & Shumaker, S. A. (1981) People in places: A transactional view of settings. in J. Harvey (Eds.), *Cognition, social behavior, and the environment*. Hillsdale, NJ: Erlbaum.
- Tuan, Y-F (1974) *Topophilia*, Englewood Cliffs: Prentice-Hall.
- Vorkinn, M., and Rise, H. (2001) Environmental concern in a local context: The significance of place attachment, *Environment and Behavior*, 33: 2. 249-263
- Wakefield, K. L et al (1996) Measurement and Management of the Sportscape. *Journal of Sport Management*, 10 : 15-31
- Williams, D. R., Patterson, M. E., & Roggenbuck, J. W. (1992) Beyond the commodity metaphor: Examining emotional and symbolic attachment to place. *Leisure Science*, 14, 29-46

- ・ William, E., Hammitt, Erick, A., Backlund&Robert, D. Bixler (2006) . Place Bonding for Recreation Places: Conceptual and Empirical Development, Leisure Studies, 25:1, 17-41
- ・ 岩崎稔 (2008) 記念碑と対抗的記念碑. 東京外国語大学海外事情研究所
- ・ M. アルヴァックス (1999) 集合的記憶. 小関藤一郎訳. 行路社
- ・ 大石展緒・都竹浩生 (2009) Amos で学ぶ調査系データ解析. 東京図書
- ・ 大谷華, 芳賀繁 (2003) 地域交通環境の地用が高齢住民の地域愛着に及ぼす影響. 立教大学心理学研究, 45, 01-03
- ・ 小塩真司 (2005) 研究事例で学ぶ SPSS と Amos による心理・調査データ解析. 東京図書
- ・ 小塩真司 (2011) SPSS と Amos による心理・調査データ解析第 2 版, 東京図書
- ・ 大西孝之, 原田宗彦 (2008) プロスポーツチームが行なう地域貢献活動の消費者に与える影響: 大学生のチーム・アイデンティフィケーションを観戦意図の変化に注目して. スポーツ科学研究, 5 : 253-268
- ・ 川喜田二郎 (1970) 続・発想法-KJ 法の展開と応用-. 中公新書
- ・ 隅野美砂輝, 原田宗彦 (2005) スポーツ観戦者における感情: 尺度の開発とモデルへの応用. スポーツ産業学会, 15, 21-36
- ・ 高井聡 (2007) スポーツイベントと集客戦略. スポーツ産業論第 4 版 原田宗彦 (編著). 杏林書院, 143-153
- ・ 高橋豪仁 (1996) サンフレッチェ広島ホームゲーム観戦回数の要因に関する研究. スポーツ産業学研究, 6 : 7-19
- ・ 豊田秀樹 (2010) 共分散構造分析 [AMOS 編]: 構造方程式モデリング. 東京図書
- ・ 日本経済新聞 (2011 年 12 月 6 日) 柏革命 J1 初制覇 (下) 意識変え, 器整える-フロント改革, 経営を効率化
- ・ 原田宗彦 (2008) スポーツファンのマネジメント-ファンビジネス成功の方程式-. スポーツマネジメント. 原田宗彦・小笠原悦子 (2008) 大修館書店.
- ・ 引地博之, 青木俊明, 大淵憲一 (2009) 地域に対する愛着の形成機構-物理的要因と社会的要因の影響-. 土木学会論文集 D, 65 : 2, 101-110

- ・ 松岡宏高（2008）概念装置としてのスポーツ消費者．スポーツマーケティング 原田宗彦（編著）．大修館書店，67-89
- ・ 松岡宏高，松永敬子（2002）2002FIFA ワールドカップ TM におけるボランティアの同期の比較分析 I．日本スポーツ産業学会第 11 回大会号，37-40
- ・ 武藤泰明（2008）スポーツファイナンス．大修館書店
- ・ 村上宣寛（2008）心理尺度のつくり方．北大路書房
- ・ 山口志郎，野川晴夫，北村薫，山口泰雄（2010）スポーツイベントのスポンサーシップにおけるスポンサーフィットに関する研究：Gwinner and Bennett モデルの検証．スポーツマネジメント研究，2: 2, 147-161
- ・ 山本嘉一郎，小野寺孝義（2001）共分散構造分析と分析事例．ナカニシヤ出版
- ・ イーファー・トゥアン（1992）『トポフィリア-人間と環境』小野有五・阿部一訳，せりか書房
- ・ ベイル J（1997）『サッカースタジアムと都市』池田勝他訳，（株）体育施設出版

資料 1  
予備調査使用質問紙

### アンケート調査へのご協力をお願い

このアンケートは、今後のＪリーグの試合およびクラブの運営を検討するための情報を収集することを目的に、本日、Ｊリーグをご観戦の皆様を対象にして実施しております。ご回答は匿名でいただき、すべて統計的に処理いたしますので、ご回答いただいた皆様にご迷惑をおかけすることは絶対にございませ。以上の主旨をご理解いただき、率直なご回答とご意見をお寄せいただきますようお願いいたします。

平成 24 年 10 月 6 日（土） 早稲田大学スポーツマネジメント研究室

Q1. スタジアムについてお伺いします。日立柏サッカー場に対して、あなたはどのくらい愛着（あいちゃく）を感じていますか。当てはまる番号 1 つに○をつけてください。

とても感じている

全く感じていない

6

-

5

-

4

-

3

-

2

-

1

SQ1-1. Q1 で「6, 5, 4」のいずれかに○をつけた方にお伺いします。

①何が日立サッカー場への愛着をつくっていると思いますか。思いつく限りお答えください。

例) 思い出、歴史

SQ1-2. Q1 で「3, 2, 1」のいずれかに○をつけた方にお伺いします。

①愛着を感じない理由は何ですか。

②日立サッカー場に対して感じる愛着を表す言葉を思いつく限りお答えください。

例) 他のファンとのコミュニケーション

②どうすれば愛着がわくと思いますか。

次ページに続きます

Q2. スタジアムについてお伺いします。以下の項目それぞれについて、当てはまる番号 1 つに○をつけてください。

|                                               | 大いにあてはまる            | どちらともいえない | 全くあてはまらない |
|-----------------------------------------------|---------------------|-----------|-----------|
| 1. 日立柏サッカー場のことをよく知っている                        | … 5 - 4 - 3 - 2 - 1 |           |           |
| 2. 日立柏サッカー場で何度か観戦したことがあるので、親しみをを感じる           | … 5 - 4 - 3 - 2 - 1 |           |           |
| 3. 日立柏サッカー場は私にとってとても特別なものだ                    | … 5 - 4 - 3 - 2 - 1 |           |           |
| 4. 私は、自分が日立柏サッカー場に属しているような感じがする               | … 5 - 4 - 3 - 2 - 1 |           |           |
| 5. 私にとって日立柏サッカー場は深い意味を持つ                      | … 5 - 4 - 3 - 2 - 1 |           |           |
| 6. 日立柏サッカー場での観戦は他のスタジアムでの観戦よりも重要である           | … 5 - 4 - 3 - 2 - 1 |           |           |
| 7. 日立柏サッカー場の全体像を把握している                        | … 5 - 4 - 3 - 2 - 1 |           |           |
| 8. 日立柏サッカー場以外の場所でのサッカー観戦は考えられない               | … 5 - 4 - 3 - 2 - 1 |           |           |
| 9. 日立柏サッカー場に来ると素の自分になれる                       | … 5 - 4 - 3 - 2 - 1 |           |           |
| 10. 日立柏サッカー場でも他の場所でもサッカー観戦を楽しめる               | … 5 - 4 - 3 - 2 - 1 |           |           |
| 11. 日立柏サッカー場はサッカーを観るのに最適な場所である                | … 5 - 4 - 3 - 2 - 1 |           |           |
| 12. サッカー観戦といえば日立柏サッカー場だ                       | … 5 - 4 - 3 - 2 - 1 |           |           |
| 13. 日立柏サッカー場でしかサッカー観戦はしたくない                   | … 5 - 4 - 3 - 2 - 1 |           |           |
| 14. 日立柏サッカー場は、他の場所では感じられないようなことを私に感じさせてくれる    | … 5 - 4 - 3 - 2 - 1 |           |           |
| 15. 日立柏サッカー場は他のサッカースタジアムと比べものにならない            | … 5 - 4 - 3 - 2 - 1 |           |           |
| 16. 日立柏サッカー場に対して愛情を抱いている                      | … 5 - 4 - 3 - 2 - 1 |           |           |
| 17. もし日立柏サッカー場で観戦ができないのなら、私はサッカー観戦をしない        | … 5 - 4 - 3 - 2 - 1 |           |           |
| 18. 日立柏サッカー場を身近に感じる                           | … 5 - 4 - 3 - 2 - 1 |           |           |
| 19. 日立柏サッカー場にいるとき、私は自分が日立柏サッカー場の一部であるかのように感じる | … 5 - 4 - 3 - 2 - 1 |           |           |
| 20. 私は、日立柏サッカー場以外の場所ではめったにサッカーを観戦しない          | … 5 - 4 - 3 - 2 - 1 |           |           |
| 21. 他のどの場所よりも日立柏サッカー場でサッカーを観戦しているときに満足感を覚える   | … 5 - 4 - 3 - 2 - 1 |           |           |
| 22. 私は、日立柏サッカー場が自分の一部であるかのように感じる              | … 5 - 4 - 3 - 2 - 1 |           |           |
| 23. 日立柏サッカー場が大好きだ                             | … 5 - 4 - 3 - 2 - 1 |           |           |
| 24. 日立柏サッカー場とつながっているように感じる                    | … 5 - 4 - 3 - 2 - 1 |           |           |

Q3. 以下の項目それぞれについて、当てはまる番号 1 つに○をつけてください。

|                                 | 大いにあてはまる            | どちらともいえない | 全くあてはまらない |
|---------------------------------|---------------------|-----------|-----------|
| 1. 私は、柏レイソルの熱烈なサポーターである         | … 5 - 4 - 3 - 2 - 1 |           |           |
| 2. 私は、柏レイソルのサポーターであることを他人に知らせたい | … 5 - 4 - 3 - 2 - 1 |           |           |
| 3. 私は、チームの好不調に関わらず、柏レイソルを応援する   | … 5 - 4 - 3 - 2 - 1 |           |           |

Q4. クラブが日立サッカー場を所有化したことで、今後、期待することがあればお書きください。

|  |
|--|
|  |
|--|

Q5. あなたご自身についてお答えください。

|                                   |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                        |  |  |  |  |  |  |  |
|-----------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--|--|--|--|--|--|--|
| 1) 性 別                            | 1. 男性      2. 女性                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                       |  |  |  |  |  |  |  |
| 2) 年 齢                            | (                      ) 歳                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                             |  |  |  |  |  |  |  |
| 3) ご家族                            | 1. 独身      2. 既婚→お子さんは 1. いない      2. いる                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                               |  |  |  |  |  |  |  |
| 4) 現在お住まいの<br>郵便番号                | <table border="1" style="display: inline-table; vertical-align: middle;"> <tr> <td style="width: 20px; height: 20px;"></td> <td style="width: 20px; height: 20px;"></td> <td style="width: 20px; height: 20px;"></td> </tr> </table> <span style="font-size: 20px; vertical-align: middle;">—</span> <table border="1" style="display: inline-table; vertical-align: middle;"> <tr> <td style="width: 20px; height: 20px;"></td> <td style="width: 20px; height: 20px;"></td> <td style="width: 20px; height: 20px;"></td> <td style="width: 20px; height: 20px;"></td> </tr> </table> |  |  |  |  |  |  |  |
|                                   |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                        |  |  |  |  |  |  |  |
|                                   |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                        |  |  |  |  |  |  |  |
| 5) 合計何人で来ましたか                     | あなたご自身を含めて (                      ) 人                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                  |  |  |  |  |  |  |  |
| 6) 誰と観戦に来ましたか<br>(複数回答可)          | 1. ひとり    2. 友人    3. 家族    4. その他 (                      )                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                            |  |  |  |  |  |  |  |
| 7) ご職業                            | 1. 中学生    2. 高校生    3. 大学生    4. 専門学校生・短大生<br>5. 有職(フルタイム)    6. 有職(パート・アルバイト)<br>7. 無職      8. その他 (                      )                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                           |  |  |  |  |  |  |  |
| 8) 1カ月の自由裁量所得<br>(おこづかい)          | およそ(                      )円<br>※差し支えなければ、あなたがレジャー活動や趣味等に1ヶ月で自由に使える金額をご記入ください。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                         |  |  |  |  |  |  |  |
| 9) どのような交通手段で会場<br>まで来ましたか(複数回答可) | 1. 徒歩のみ    2. 自転車    3. バイク(原付を含む)    4. 自家用車    5. タクシー<br>6. 電車    7. 路線バス    8. その他 (                      )                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                        |  |  |  |  |  |  |  |
| 10) ご自宅からの所要時間                    | 片道およそ(                      )分 ※ご自宅からの時間をご記入ください                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                       |  |  |  |  |  |  |  |
| 11) 今シーズンのホームゲーム<br>観戦回数          | (                      ) 試合                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                            |  |  |  |  |  |  |  |

質問は以上です。ご協力、誠にありがとうございました。

## 資料 2

### 本調査使用質問紙

### アンケート調査へのご協力をお願い

このアンケートは、今後のＪリーグの試合およびクラブの運営を検討するための情報を収集することを目的に、本日、Ｊリーグをご観戦の皆様を対象にして実施しております。ご回答は匿名でいただき、全て統計的に処理いたしますので、ご回答いただいた皆様にご迷惑をおかけすることは絶対にございませぬ。以上の趣旨をご理解いただき、率直なご回答と意見をお寄せいただきますようお願いいたします。

平成 24 年 10 月 27 日(土)早稲田大学スポーツマネジメント研究室

#### Q1. あなた自身についてお答え下さい。

|                                    |                                                                                                                                           |       |                            |
|------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------|----------------------------|
| 1) 性別                              | 1. 男性      2. 女性                                                                                                                          | 2) 年齢 | (                      ) 歳 |
| 3) ご家族                             | 1. 独身      2. 既婚→お子さんは 1. いない      2. いる                                                                                                  |       |                            |
| 4) お住まい                            | (                      ) 都・道・府・県      (                      ) 市・郡・区・町・村                                                                  |       |                            |
| 5) ご職業                             | 1. 中学生      2. 高校生      3. 大学生      4. 専門学生・短大生      5. 有職(フルタイム)<br>6. 有職(パート・アルバイト)      7. 無職      8. その他(                      )      |       |                            |
| 6) 本日も利用<br>の座席                    | 1. SS 指定席      2. SD ホーム指定席      3. SF ホーム指定席      4. MR ホーム指定席<br>5. AR ホーム指定席      6. AL ホーム指定席      7. 柏熱地帯自由席(立見)      8. 柏熱地帯自由席(座席) |       |                            |
| 7) 今日は合計何人で来ましたか                   | あなた自身を含めて(                      ) 人                                                                                                       |       |                            |
| 8) あなたは今日、誰と観戦に来ましたか<br>(いくつでも)    | 1. ひとり      2. 友人      3. 家族      4. その他(                      )                                                                          |       |                            |
| 9) スタジアムまでの所要時間                    | 片道およそ(                      ) 分                                                                                                           |       |                            |
| 10) どのような交通手段で会場まで来<br>ましたか(いくつでも) | 1. 徒歩のみ      2. 自転車      3. 自家用車      4. バイク(原付を含む)<br>5. タクシー      6. 電車      7. 路線バス      8. その他(                      )                |       |                            |
| 11) 今シーズンのホームゲーム観戦回数               | (                      ) 試合 ※初めてのの方は「1 試合」として下さい。                                                                                         |       |                            |
| 12) 1 ヶ月の自由裁量所得(おこづかい)             | およそ(                      ) 円<br>※差し支えなければ、あなたがレジャー活動や趣味等に 1 ヶ月で自由に使える金額をご記入下さい。                                                          |       |                            |

#### Q2. スタジアムに対する愛着(あいちゃく)についてお聞きます。以下の項目はどのくらい当てはまりますか。

それぞれ当てはまる番号 1 つに ○ をつけて下さい。

|                                                  | 大いにあてはまる                            | どちらともいえない | 全くあてはまらない |
|--------------------------------------------------|-------------------------------------|-----------|-----------|
| 1. 日立柏サッカー場は地元の誇りである                             | … 9 - 8 - 7 - 6 - 5 - 4 - 3 - 2 - 1 |           |           |
| 2. 日立柏サッカー場にいるとき、私は自分が日立柏サッカー場の一部であるかのよ<br>うに感じる | … 9 - 8 - 7 - 6 - 5 - 4 - 3 - 2 - 1 |           |           |
| 3. サッカー観戦といえば日立柏サッカー場だ                           | … 9 - 8 - 7 - 6 - 5 - 4 - 3 - 2 - 1 |           |           |
| 4. 他のどの場所よりも日立柏サッカー場でサッカーを観戦しているときに満足感を<br>覚える   | … 9 - 8 - 7 - 6 - 5 - 4 - 3 - 2 - 1 |           |           |
| 5. 日立柏サッカー場はサッカーが見やすい                            | … 9 - 8 - 7 - 6 - 5 - 4 - 3 - 2 - 1 |           |           |
| 6. 日立柏サッカー場でしかサッカー観戦はしたくない                       | … 9 - 8 - 7 - 6 - 5 - 4 - 3 - 2 - 1 |           |           |
| 7. 私は日立柏サッカー場とつながっているように感じる                      | … 9 - 8 - 7 - 6 - 5 - 4 - 3 - 2 - 1 |           |           |
| 8. 日立柏サッカー場のピッチと選手の距離は絶好だ                        | … 9 - 8 - 7 - 6 - 5 - 4 - 3 - 2 - 1 |           |           |
| 9. もし日立柏サッカー場で観戦ができないのなら私はサッカー観戦をしない             | … 9 - 8 - 7 - 6 - 5 - 4 - 3 - 2 - 1 |           |           |
| 10. 日立柏サッカー場ではレイソルの歴史を感じることができる                  | … 9 - 8 - 7 - 6 - 5 - 4 - 3 - 2 - 1 |           |           |
| 11. 日立柏サッカー場に来ると素の自分になれる                         | … 9 - 8 - 7 - 6 - 5 - 4 - 3 - 2 - 1 |           |           |
| 12. 日立柏サッカー場では試合以外のサービスも充実している                   | … 9 - 8 - 7 - 6 - 5 - 4 - 3 - 2 - 1 |           |           |

|                                            | 大いにあてはまる                            | どちらともいえない | 全くあてはまらない |
|--------------------------------------------|-------------------------------------|-----------|-----------|
| 13. 日立柏サッカー場で何度かサッカー観戦したことがあり、親しみをを感じる     | … 9 - 8 - 7 - 6 - 5 - 4 - 3 - 2 - 1 |           |           |
| 14. 日立柏サッカー場の全体像を把握している                    | … 9 - 8 - 7 - 6 - 5 - 4 - 3 - 2 - 1 |           |           |
| 15. 私は、日立柏サッカー場以外の場所ではめったにサッカーを観戦しない       | … 9 - 8 - 7 - 6 - 5 - 4 - 3 - 2 - 1 |           |           |
| 16. 日立柏サッカー場にはマスコットがいるので嬉しい                | … 9 - 8 - 7 - 6 - 5 - 4 - 3 - 2 - 1 |           |           |
| 17. 日立柏サッカー場に対して愛情を抱いている                   | … 9 - 8 - 7 - 6 - 5 - 4 - 3 - 2 - 1 |           |           |
| 18. 日立柏サッカー場での観戦は他のスタジアムでの観戦よりも重要である       | … 9 - 8 - 7 - 6 - 5 - 4 - 3 - 2 - 1 |           |           |
| 19. 日立柏サッカー場ではサポーター同士の一体感が感じられる            | … 9 - 8 - 7 - 6 - 5 - 4 - 3 - 2 - 1 |           |           |
| 20. 日立柏サッカー場のことをよく知っている                    | … 9 - 8 - 7 - 6 - 5 - 4 - 3 - 2 - 1 |           |           |
| 21. 私は、自分が日立柏サッカー場に属しているような感じがする           | … 9 - 8 - 7 - 6 - 5 - 4 - 3 - 2 - 1 |           |           |
| 22. 日立柏サッカー場では熱くなれる                        | … 9 - 8 - 7 - 6 - 5 - 4 - 3 - 2 - 1 |           |           |
| 23. 日立柏サッカー場では臨場感が味わえる                     | … 9 - 8 - 7 - 6 - 5 - 4 - 3 - 2 - 1 |           |           |
| 24. 日立柏サッカー場が大好きだ                          | … 9 - 8 - 7 - 6 - 5 - 4 - 3 - 2 - 1 |           |           |
| 25. 私は、日立柏サッカー場が自分の一部であるかのように感じる           | … 9 - 8 - 7 - 6 - 5 - 4 - 3 - 2 - 1 |           |           |
| 26. 日立柏サッカー場以外の場所でのサッカー観戦は考えられない           | … 9 - 8 - 7 - 6 - 5 - 4 - 3 - 2 - 1 |           |           |
| 27. 日立柏サッカー場のコンパクトさは良い                     | … 9 - 8 - 7 - 6 - 5 - 4 - 3 - 2 - 1 |           |           |
| 28. 日立柏サッカー場での試合では選手との一体感が感じられる            | … 9 - 8 - 7 - 6 - 5 - 4 - 3 - 2 - 1 |           |           |
| 29. 日立柏サッカー場は他のサッカースタジアムと比べものにならない         | … 9 - 8 - 7 - 6 - 5 - 4 - 3 - 2 - 1 |           |           |
| 30. 私にとって日立柏サッカー場は深い意味を持つ                  | … 9 - 8 - 7 - 6 - 5 - 4 - 3 - 2 - 1 |           |           |
| 31. 日立柏サッカー場では思い出に浸る(ひたる)ことができる            | … 9 - 8 - 7 - 6 - 5 - 4 - 3 - 2 - 1 |           |           |
| 32. 日立柏サッカー場では落ち着くことができる                   | … 9 - 8 - 7 - 6 - 5 - 4 - 3 - 2 - 1 |           |           |
| 33. 日立柏サッカー場は、他の場所では感じられないようなことを私に感じさせてくれる | … 9 - 8 - 7 - 6 - 5 - 4 - 3 - 2 - 1 |           |           |
| 34. 日立柏サッカー場はチーム保有の専用スタジアムである点で他のスタジアムとは違う | … 9 - 8 - 7 - 6 - 5 - 4 - 3 - 2 - 1 |           |           |
| 35. 日立柏サッカー場では選手とコミュニケーションがとれる             | … 9 - 8 - 7 - 6 - 5 - 4 - 3 - 2 - 1 |           |           |
| 36. 日立柏サッカー場は私にとってとても特別なものだ                | … 9 - 8 - 7 - 6 - 5 - 4 - 3 - 2 - 1 |           |           |
| 37. 日立柏サッカー場を身近に感じる                        | … 9 - 8 - 7 - 6 - 5 - 4 - 3 - 2 - 1 |           |           |
| 38. 日立柏サッカー場で行なわれる応援は面白い                   | … 9 - 8 - 7 - 6 - 5 - 4 - 3 - 2 - 1 |           |           |

Q3. あなたは柏レイソルのファンですか。もしそうであれば、応援して何年目ですか。

- はい(応援して 年目) ※今シーズンから応援するようになった方は「1 年目」として下さい。
- いいえ → A. 大宮アルディージャのファン B. その他の「クラブ( )」のファン
- 応援しているクラブは特にな

→ SQ1. Q3 で「1. はい」とお答えした方にお聞きます。

以下の項目について、それぞれ当てはまる番号1つに○をつけて下さい。

|                                 | 大いにあてはまる            | どちらともいえない | 全くあてはまらない |
|---------------------------------|---------------------|-----------|-----------|
| 1. 私は、柏レイソルの熱烈なサポーターである         | … 5 - 4 - 3 - 2 - 1 |           |           |
| 2. 私は、柏レイソルのサポーターであることを他人に知らせたい | … 5 - 4 - 3 - 2 - 1 |           |           |
| 3. 私は、チームの好不調に関わらず、柏レイソルを応援する   | … 5 - 4 - 3 - 2 - 1 |           |           |

Q4. もしあなたが誰かに日立柏サッカー場についてアピールする(知ってもらふ)としたら、どんなことをアピールしたいですか。

Q5. スタジアム観戦についてお聞きます。以下の項目について、それぞれ当てはまる番号1つに○をつけて下さい。

|                                          | 大いにあてはまる                    | どちらともいえない | 全くあてはまらない |
|------------------------------------------|-----------------------------|-----------|-----------|
| 1. 座席の座り心地は良い                            | … 7 - 6 - 5 - 4 - 3 - 2 - 1 |           |           |
| 2. 私は選手のパフォーマンスが生み出す興奮が好きだ               | … 7 - 6 - 5 - 4 - 3 - 2 - 1 |           |           |
| 3. スタッフは快く手助けをしてくれる                      | … 7 - 6 - 5 - 4 - 3 - 2 - 1 |           |           |
| 4. スタッフは私の質問にすばやく答えてくれる                  | … 7 - 6 - 5 - 4 - 3 - 2 - 1 |           |           |
| 5. スタジアムの案内板には何がどこにあるか分かりやすく示されている       | … 7 - 6 - 5 - 4 - 3 - 2 - 1 |           |           |
| 6. 私はスタジアムのスタッフに親近感を持ち、また彼らを頼りにしている      | … 7 - 6 - 5 - 4 - 3 - 2 - 1 |           |           |
| 7. 座席の前後には余裕がある                          | … 7 - 6 - 5 - 4 - 3 - 2 - 1 |           |           |
| 8. スタジアムは座席が見つかりやすい設計になっている              | … 7 - 6 - 5 - 4 - 3 - 2 - 1 |           |           |
| 9. 柏レイソルは、毎試合全力を尽くしている                   | … 7 - 6 - 5 - 4 - 3 - 2 - 1 |           |           |
| 10. スタッフは私の要望に迅速に対応してくれる                 | … 7 - 6 - 5 - 4 - 3 - 2 - 1 |           |           |
| 11. スタジアムの案内板は私がどこへ行くか知るのに役に立つ           | … 7 - 6 - 5 - 4 - 3 - 2 - 1 |           |           |
| 12. 座席はゆったりと座れる並びをしている                   | … 7 - 6 - 5 - 4 - 3 - 2 - 1 |           |           |
| 13. スタジアムには観客が応援したり、食事をするスペースが十分に確保されている | … 7 - 6 - 5 - 4 - 3 - 2 - 1 |           |           |
| 14. スタジアムの通路は十分な広さにつくられている               | … 7 - 6 - 5 - 4 - 3 - 2 - 1 |           |           |
| 15. 座席の左右には余裕がある                         | … 7 - 6 - 5 - 4 - 3 - 2 - 1 |           |           |
| 16. 柏レイソルの選手は試合中精一杯プレーしている               | … 7 - 6 - 5 - 4 - 3 - 2 - 1 |           |           |
| 17. 柏レイソルは私に思い出深くて印象的なゲーム提供してくれる         | … 7 - 6 - 5 - 4 - 3 - 2 - 1 |           |           |
| 18. スタジアムはトイレが見つかりやすい設計になっている            | … 7 - 6 - 5 - 4 - 3 - 2 - 1 |           |           |
| 19. スタッフはいつも私の要望に応じてくれるので頼れる             | … 7 - 6 - 5 - 4 - 3 - 2 - 1 |           |           |
| 20. 試合中の観客のエネルギーは私を興奮させる                 | … 7 - 6 - 5 - 4 - 3 - 2 - 1 |           |           |

Q6. あなたは、日立柏サッカー場で柏レイソルを応援することで、日立柏サッカー場への愛着が高まったと思いますか。

当てはまる番号1つに○をつけて下さい。

|         |          |   |   |   |   |
|---------|----------|---|---|---|---|
| 非常にそう思う | 全くそう思わない |   |   |   |   |
| 6       | 5        | 4 | 3 | 2 | 1 |

SQ1. Q6 で「6, 5, 4」に○をつけた方にお聞きます。

あなたは、日立柏サッカー場で柏レイソルを応援することで、なぜ日立柏サッカー場への愛着が高まったと思いますか。  
その理由やきっかけをお答え下さい。(体験・出来事など)

Q7. これまでのスタジアムでの経験をふまえ、あなたは再び日立柏サッカー場へ訪れたいと思いますか。

当てはまる番号 1 つに○をつけて下さい。

非常にそう思う

どちらでもない

全くそう思わない

|   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 7 | - | 6 | - | 5 | - | 4 | - | 3 | - | 2 | - | 1 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|

Q8. 今後の柏レイソルに対するご意見・ご要望等ございましたらお書き下さい。

質問は以上です。ご協力，誠にありがとうございました。

## 謝辞

早稲田大学大学院に入学してから、あっというまの2年間が過ぎようとしています。入学以来、最高の環境のもとで最高に素晴らしい日々を過ごさせていただきました。

まず、社会人から学生に戻る私を温かく迎え入れて下さった原田宗彦先生に深謝いたします。原田先生のもとで過ごした2年間は私の人生の宝であり、未熟な私にご指導ご鞭撻いただいたことに心から感謝いたします。また、多くの貴重な経験を積む機会も与えて下さり、感謝してもしきれません。そして、副査の依頼をご快諾くださった石井昌幸先生、松岡宏高先生にも感謝申し上げます。他研究室にもかかわらず、いつも気にかけて下さり、また多くのご助言ご指導をいただいたことを本当にありがたく思います。

これまで着実に歩み、論文の執筆を終えることができたのは、原田研究室の皆様のお力添えがあってこそだと感じております。ゼミや合宿、そして研究室において、多くの先輩方からの確なアドバイスや鋭い指摘をいただきました。特に、押見大地さんには、研究に対する姿勢や論理的思考を賜り、ときには夜中まで研究作業にお付き合いいただきそして励ましていただきました。また、松井くるみさんには、研究へのアドバイスだけでなく、自信を賜りました。公私共々お世話になったくるみさんにはいつも温かい言葉をいただき、そのひとつひとつに本当に救われました。

そして、この充実した2年は4人の素晴らしい同期なしでは語れません。新井萌さん、飯塚啓太くん、兵頭陽くん、山下玲さん、あなた達がいたからこそここまで頑張ってくることができました。切磋琢磨できる仲間と苦楽をともにした2年は本当に短すぎるくらいです。別々の

道を歩む私達ですが、離れた場所からもいつも応援し、お互い励まし合って、この縁がこれからもずっとずっと続くよう願っています。みんな大好きです。本当にありがとう。様々な面で手助けしていただいた後輩の安藤絵里奈さん、喜田なつみさん、辛文さん、田中浩基くん、助川智洋くん、学部生の皆様、共に研究室で過ごした他研究室の皆様、学年は上だけど同い年の舟橋さんにも御礼申し上げます。

また、突然の申し出にもかかわらず、研究の主旨にご理解ご協力下さいました、株式会社日立柏レイソルの小田切様、廣川様をはじめ、スタッフの皆様にも厚く御礼申し上げます。私の調査や修士論文が少しでもクラブ運営の一助となれば幸いです。

最後に、今日まで育ててくれた両親と、苦しいときはどんなときも側にいてくれる妹、そしていつも心の支えていってくれる夫に感謝いたします。

2013 年 2 月 21 日

田中いづみ